

西陣帶商木村卯兵衛家所蔵

『奉公人召抱控』

仲 村 研

創業以来二百五十年を誇る京都西陣の帯問屋、木村卯兵衛株式会社に所蔵されている約千点の文書の中に、元治元年（一八六四）に書きはじめられた『奉公人召抱控^下女共』の表紙をもつ冊子がある。冊子は縦二十四センチ、横十七センチ、厚二・五センチの大きさで、勘定帳などの紙背を袋綴じにしたもので、百二十九丁からなっている。内容は元治元年の春から一九四一年（昭和十六）までの十七年間、六代目・七代目・八代目木村卯兵衛家の経営期間の男女奉公人の雇用記録である。

冊子の筆者は、元治元年から明治十六年までの十九年

間は六代目卯兵衛、明治十七年から同三十年までの相続人不在期間は番頭、明治三十年から昭和七年までの三十五年間は七代目、昭和七年から同十六年までは八代目が書き継いでいる。店主の代替わりの前後は、奉公人の記入について、雇用、昇進、解雇、退職などについては、二人の店主の筆跡が混在している。

この冊子は、奉公人名、店内通称、出身地、年齢、父親姓名と職業、間柄、雇用年月日、紹介者名、宗旨と旦那寺、手代昇進年月日、元服（手代昇進後の）名、解雇および退職年月日、暖簾分け年月日などが記入されている。

この冊子については、京都府から刊行された『老舗と家訓』（一九七〇年）に冒頭の一節が紹介されており、私も「西陣木村卯兵衛家の奉公人」（本誌第十九号 一九七五年）で暖簾分け関係部分のみ紹介しておいたが、冊子全体を紹介したものではなく、ここに全体を紹介して、

京都の商業経営研究、西陣研究に供したいと思う。史料紹介の最後に冊子の内容を図表化して付加しておいたのご参照いただきたい。なおこの冊子については、本研究第二研究第三回の列会（一九八七年六月八日）で「資料 京都の商家・店員・店則」と題して報告し、『京都新聞』（同年十一月十九日付朝刊紙上に「西陣商家の奉公人たち」と題し、報告の要点を紹介しておいた。

『奉公人召抱控下女共』を紹介するに当り、木村卯兵衛株式会社社長木村正一氏（九代目）、総務部長小林浩氏にたいして深甚の謝意を表したいと思う。

凡 例

一、活字の排列は原史料の雰囲気可能な限りそのままにするようにしたが、印刷の都合上、やむをえず変更した場合もある。

一、活字は当用漢字を使用した。一部旧漢字を使用した箇所もある。

一、本史料に記されている人物の退店については、史料の性格上、省略した箇所もある。

一、その他、磨減など判読不可能な文字は、字数に応じて [] を付した。

(表紙)

元治元甲子春改
奉公人召抱控
下女共

(表紙裏)

一先祖出生南山城綴喜郡與戸村百性藤七悴、同郡出外村垣
百性武兵衛へ七才之禊ニ親類中へ養子ニ參候之処、右
武兵衛方へ男子出生ニ相成候、十一才之時京都奉公ニ
罷出候事、四十三才宿造り被致事、

一母方南山城相築郡ひし田村百性権三郎娘ひし、六代目
卯兵衛同家之事、

一與戸村名字北尾 出垣外村木村 紋所(三ツ)柏

(候意) 一実父出生ハ同郡東川原百性忠兵衛悴

先祖妻江州水口在市田村市田伊兵衛娘」

(下段書) 一明治元戊辰町内より出生改之禊、左之通申上候、則明

治元、百廿八ヶ年ニ相成候、六代目卯兵衛

南山城ひし田村百性権三郎、天保七申五月廿八、十一

才上京候事、則二代目卯兵衛妻いし廿一才養子ニ上京

候事、則三代目卯兵衛妻おちよ出垣外村武兵衛娘十九才、
養子ニ上京候事」

(二丁表)

「ます七月十一日

卯兵衛 生

二月拾日

おらく

六月三日生」

(表紙裏下段書ノ 続キナラン)

定

一先祖の家作法之通、急度相守可申候事、

一忠勤はけみ善キ事者見習、上下主人之悴娘至ル迄、悪

キ事は○内々申出し、上ヲ

(二丁裏) うやまい、下ヲあわれみ、家内一統むつ間敷可致事、

一老若不抱、誠有もの、万事奉公太切致者、商売間合も

の、元服早く為致、何事も氣ヲ附、出情被致遣ス事

(二丁裏) 一一夜がけ伊勢参詣之後、尤小者下女至迄宿用事有之候

共、一宿無用事、

一朝出九ツ時迄内入、昼飯後出、七ツ時ニ内入、若得意

先掛合延引用事も有之候者、其節者

(三丁裏) 主人江断可申出事、

右之通、銘々急度相守、少々茂背違無之可致候事、

元治元甲子春改

六代目 卯兵衛

常泰定

(1) 一丹州笹山近在丸山邑

(三丁裏) 多喜郡

百性太兵衛悴

治介事

長四郎

弘化四年未四月

廿一才にて奉公参候、

安政五年之年冬別宅申付候、

巷ヶ年之間通勤いたし候、

家内富小路三条下ル町白粉屋幸介娘

いそ申受候、

(2) 一江州志賀郡上龍花邑

百性新太郎悴

新介事

藤兵衛

二十才

弘化四年未九月奉公参候、

安政六未冬別宅申附候、

家内六条通室町東入内卯作世話

養親 藤屋長兵衛娘申受候、

(山脱カ) 柳馬場小路上ル

実は藤長親類ひし次娘也、

(3) 一山城北二之瀬邑

(四丁裏)

百性藤左衛門悴

藤兵衛事清兵衛

壹年半奉公致し近清へ

相統人遣ス、清介死去之節

此方へ跡目難ニ附

安政七冬冬上り六才にて奉公参候、

(五年)

明治貳巳七月九日吉日、元誓願寺

六軒町西入町買得致候、則別家並也、

(4) 一西陣枕町

(四丁裏)

舛屋源兵衛悴 久吉 改久助

安政貳卯之年^二四月奉公参候、

慶応元

丑七月より度々不埒、永々暇遣ス、

以来出入無用事、

明治三歳

庚午七月吉日永世出入免事

(5) ^(五丁巻)一丹州野々邑庄澤田邑

百性市兵衛悴 ^{清吉事} 改清八

安政四巳之春奉公参候、

京宿大宮通旅町坂喜見也、 ^{清吉}

同町柏嘉甥也、

元治元甲子十月二

宿元相果候、着類不殘遣ス者也、

(6) ^(五丁巻)一猪熊三条上ル町

近江屋利兵衛悴 ^{伝吉} 改喜介

十一才^六奉公参ル

安政五午之春 ^{十一才} 奉公参候、

但シ近藤世話

一浄土宗知恩寺末京四条裏寺町

不埒後宿ニテ
相果申候、

浄心寺旦那

前後相成候断 ^(六丁巻)

(7) 一江州信楽多良尾邑 ^良

代官多良尾久右衛門殿手代

岩井与市郎悴京宿室町蛸薬師

丹後屋仙助仮親 ^{米吉}

改与介 改喜兵衛

嘉永 安政四亥之春十二才奉公参候、

当时京姊小路大宮近喜宿

江州多良尾邑同村木当世

伯父井上孫市親ニ断万事 ^{引請ニ} 相成候、

宗門浄土宗知恩院末 ^(六丁巻)

江州甲賀郡多良尾村

浄歎寺旦那

当宿村福寿院旦那

明治元辰十一月二十八日別宅申附置事

未八月十三日相果、

(七丁表)
前後ニ相成斷

(8)一南山城綴喜郡森新田邑

百性九兵衛悴 幸太郎事

安政二卯之年春奉公參候、

悴十四才ニテ

京宿六角烏丸東入 近江屋喜助

一浄土宗綴喜郡川原村

極楽寺旦那

寅十一月暇遣し申候事

(9)一江州高嶋郡巻野邑

百性又左衛門悴

中筋千本東入近江屋市兵衛宿、但し近市

甥也、

万延弍申之春奉公十一才ニテ參候、

一禪宗 江州高嶋郡今津

宗宅寺末同郡巻野邑

瑞光院旦那

(10)一南山城綴喜郡川原邑

百性久兵衛悴 岩吉

実は同同近在内置邑庄兵衛悴

文久弍戌之年春奉公十一才ニテ參候、

京宿なし万事ひし田邑 六代目 卯兵衛

甥東川原邑忠兵衛受合

元治元丑五月暇遣ス、

(11)一西江州志賀郡上龍花邑

百性浅右衛門悴 孝吉

但し祖父浅右衛門廿才計当家居申候、

與八卯兵衛出生也、然し当家縁ハ別外之、

奉公第一御座候、 十二月十日 相果申候、

聞、六身ニ縁ハなし、代替リニ相成候、

文久三亥之春十一才奉公參候、

京宿内ノ藤兵衛親類故、其積ニ御座候、

一宗門大徳寺末福寿寺旦那

(12) 南山城(九丁表)ひし田六代目卯兵衛

兄権三郎殿悴 卯兵衛美甥

ひ、七才之御より存心有之る夏

申請置候、十二才夏五月廿八日上京

奉公人並にて

捨吉
十二才

店にて遣イ置者也、

改名

内輪一統に卯兵衛存心

忠八

申置候、

六月生

宗門浄土宗知恩院末同邑西方寺旦那

二月十九日生

(横書)一嘉永五

子之年生

(九丁裏)
(朱書)

(13) 一「上京五番組中宮町」中筋通浄福寺西入町

近江屋喜兵衛悴

駒次事

慶応元

乙丑四月八日奉公参候、十三才

請人中立壳浄福寺東入町

近江屋八左衛門殿

代々浄土宗知恩院末

河原町二条上ル町

改名嘉八

法雲寺旦那

西三月断

(14) 一(十丁表)中立壳黒門東入役人町

万屋弥兵衛孫

立吉
十二才

同 河七悴

改

慶応貳寅四月八日奉公参、

代々 寅五月暇遣ス、

大宮元誓願寺上ル町

松屋歳次郎殿世話人

○「コノ丁ハ斜線ニテ抹消シテアル。」

明治四年辛未八月改

上京東堀川御池上町押堀町

佐藤伊左衛門殿

改引取事、但し姉むこ也」

「右貼紙ノ上ノ貼紙上京貳拾七区

折岡米吉

明治七歳戌三月八日勤申附事

(千丁裏)
(朱書)

「下京七番組」

元姉小路大宮西入町 当時日暮丸太町上

暇手ニ付麥宅致居候、

「新町御池下町」

遠江屋喜兵衛倅

慶応弐

四男 九才

寅四月八日

五月生
十五日

代々北野御前通なべ町下

法華寺旦那

本ほうそ

四年
三月

店与介京宿尤同人世話也、大不埒ニ附

以来一切出入無用事 暇遣ス也、

(十一丁裏)
(朱書)

(16) 「上京七番組之内観音町」

一条通六軒町西入町 笹屋藤介倅

以前小者之砌ニ相勤居候所、此度

再勤段願ニ付、四月八日より

三男
弁七
当廿才

相勤申候、右笹屋藤介之儀ハ

内輪笹伝別家也、

請人

宗門東本願寺末日暮榊木町上

等観寺旦那

明治十一歳

寅一月二日ヨリ

慶応三

丁卯四月八日

別宅申附

者也、

来□_辰

正月より十ヶ年之

證文事

(十一丁裏)
(朱書)

(17) 「上京二十四番組之内 蔭絵屋町」

一烏丸二条上町

遠江屋伊八倅 伊三吉

辰十二才

宗門代々真言宗南都正大寺末

京都壬生寺中之坊旦那

八文字屋宗介殿

明治元戊辰九月十一日

世話人

相続人ニ附

明治三庚午六月暇遣ス、

不相替出入事

(18) 上京式番組

一大宮頭

池田屋儀八

御旅町堅若宮町

悴 儀三郎

宗門黒谷末

改 万吉
十二才

鞍馬口東町東入

西向寺旦那

明治貳歲

明治三歲

巳四月九日

三月暇出
帰候、

(19) 一大門邑

大徳寺門前

柳屋与兵衛
悴 金三郎
巳十一才

宗門浄土宗

今宮西 西光庵

上京式番組

池田屋儀八殿世話二人

明治貳

巳八月十九日

病氣ニ附暇遣ス、

「上京第壹区」

大宮頭若宮堅町

長谷川卯兵衛

同居巳之助

明治七歲戌三月八日勤申附事」

「(右貼紙ノ上貼紙) 証」

一金四百円也

右之通証ニ請取候也、

明治十九年八月一日 山田太助

木村イヨ殿

(右ノ貼紙ノ下ニ繼イテ貼紙)
「右之匱不都合致候ニ付」

明治十九年八月九日暇遣し候也」

(20) 一上京式番組

大宮頭若宮堅町

浄土宗知恩院末

宗門寺町頭鞍馬口

長谷川

栢屋卯兵衛

悴 巳之助

午 十三才
一男

上善寺旦那

正月七日生

天念ほうそ

明治三

(朱印判)

「第『六』号(注)」、「八日比野氏ノ署ナリ

午二月九日

明治『廿二』年『六』月『八』日

京都始審裁判所

始審裁判所判事『日比野綱雄』(関④)

(注) 印ハ「日比野」トアル

世話人同町

池田屋儀兵衛殿

(朱書)

「関」④ (注) 印ハ「荒木」トアル

明治十四年春月八日別宅申附者也、

(21) 一上京一番組岩上蛸薬師下ル町宮本町

带屋長兵衛

悴 平吉

二男 十一才

東門徒 松原西洞院西入町

光円寺旦那

明治三歳庚午三月廿八日 辛未五月断

(22) 一上京一番組知恵光院笹屋町下橋町

改八区

松屋清兵衛

三男 河吉

十三才

証符有

六月廿一日生

明治三歳

庚午六月十五日

明治十七同断

笹屋町知恵光院西入町

改明治九子三月入家 七ケ年雇入、

(23) 一勢州四ケ市

岩井八十八悴

猶吉

十一才 十一月生

江州信染多良尾

岩井与市悴也

当時岩井五八事

此度喜兵衛甥ニ御座候、

喜兵衛宿元尤宗門同断ニ御座候、

明治三年

此度父相統候附

庚午十一月五日上京 断 出入差免候事

(24) 一中筋大宮西入町

笹儀別家

伊助

笹屋清兵衛粹梅次郎九才奉公

年十九才ニ而不埒有之、暇遣之処、無人之時

廿三才再勤致候処、又候不埒致候故、

出入差止置候処、此度家内葬式ニ附

段々清兵衛殿願ニ付、出入差免事、

明治三年 九月死仕候、相残着類遣ス、

庚午十一月十一日断

(25) ^(十五丁裏)一近江国甲賀郡

信楽多良尾村

百性 徳本万吉悴

二男

金次郎

辛未十六才

九月十五日生

明治四年

辛未十月上旬

宗門浄土宗 同村浄頭寺旦那

世話人者同邑岩井与八事

明治七戌拾月廿一日断

(26) ^(十六丁裏)一上京八区横大宮町

組糸商売 福井喜兵衛

甥 与三郎

二男 十一才

宗門真宗 十二月廿五日生

本ほうそ 九才六ヶ月

三才六月 世話人上八区山本町

藤井平介 店出入了

明治七年

戌五月二日極メ

明治十二歳四月相続ニ附井平事

同州へ引帰、

(27) ^(十六丁裏)一小川武者小路下ル 已来出入無用之事

革堂町 三男小野清兵衛

明治九子三月〇七ヶ月悴 松之助

雇入 壬申十一才

宗門日蓮宗 五月五日生

小川頭妙頭寺口

寺中善行院旦那

明治五壬申 世話人 姉下女勤居候ニ附

十月 別段願候、

明治九子八月五日断

本ぼうそ 二才ノ初三月

町内へ届ケ申置ク者也、

(28) 一上京第三区若宮堅町

松山定次郎

明治十一歳五月二度目請ル、四男 政次郎

ぼうそ了 第壹区

十二才

学校にて相済、

明治七年

五月廿八日雇入、

十二月十五日生

十才六月

浄土宗

知恩院末

世話人同町

東川端今出川下

西邑儀八殿

正定院旦那

明治十二歳十二月ヨリ

通勤申附者也、

(横書) 老人ニ附相続人

暇申願上者故

しはらく処無抛附

通勤申附者也」

○老人以下ハ松山定次郎ノ下ニ横書ニテ記サレテイル。

(29) 一上八区大宮元誓願寺西入

荒堀藤兵衛悻悻長男

藤次郎

九才

明治六年

酉八月一日より 十一月九日生

改明治八乙亥拾月十一日 世話人別家ニ附なし、

戸籍町分へ出る也、證符有

明治十一歳五月二度目請ル、

(横書) 明治十六年九月迄

度々不埒ニ附十月断」

(30) 一上京拾区築山北半町

船木茂助悻

平次郎

当十六才

当时兄同町

橋本草助宿引請

但十九才 明治七戌十二月八日より

ほうそ 天念(参) 正符在之事

六月才日生 明治十歳七月断

(81) 上京(十九才)拾六区黒門中立売上

飛彈正町 清水善助悴文次郎

三才ニ 十五才三男

正符有 五月才日生

明治九歳

丙子四月才日より雇入、

明治十七月断

(82) 上京(十九才)貳区上御霊前通

新町東入継孝院町

商 小林敦道悴

本四才之時 源吉十一才

断 六月十五日生

新町頭清蔵口町

藤井茂兵衛殿世話人

(83) 上京(十九才)第四区東石屋町

庄彦兵衛悴彦

浄土宗 半次郎

知恩院末 十三年 四ヶ月

千本瑞雲院旦那 六月八日生

明治七八月

天然

本家おりう殿世話

十月六日より

十二歳分同断

(84) 一明治十歳八月二日ヨリ(二十才)

上京第七区東上善寺町

慶応貳寅 大住嘉助

六月八日(朱印以下同シ) 廿日生 長男安太郎十五才

証符有 十一歳三ヶ月

明治十一歳五月二度目請ル、

明治十二歳正月相統ニ附

引取者也、

(35) ^{三十二丁裏}兵庫県但馬国第一大区五小区津居山村

百六十三番屋鋪居住

商 三木治平男

文久四甲子八月廿日生 芳造

明五四初

十二年十一ヶ月

明治十歳八月廿五日ヨリ雇入、明治十三歳

京宿夷川柳馬場西入町

二月三十日
国元引取

一条川越世話 浅井嘉助

〔^{横巻}明治十一歳五月二度目請ル〕

(36) ^{三十二丁裏}上京第廿五区夷川柳馬場西入町

百足町 浅井嘉助

慶応元丑 明七五二初 三女 常次郎

七月 生

明治七五月

九才之時植 ^{植痘病}

十式歳二ヶ月

明治十歳八月廿五日雇入、六月断

一条川越藤助世話

明治十歳五月二度目請ル、

(37) ^{三十二丁裏}明治十歳八月廿一日ヨリ

元妙蓮寺町 荒堀藤兵衛粹

明治元辰 明七五二初 藤二郎

四月廿二日生 九歳五ヶ月

八月断

明治十一歳五月二度目請ル、

(38) ^{三十二丁裏}明治十一歳寅四月十八日上京

御府下相楽郡第貳区ひし田村

農 堀武兵衛長男

明治二歳 正太郎

二月廿日生 九歳三ヶ月
植証符有

明治十一歳五月式度請

明治十六年八月病氣ニ附

養生遣ス、断

(39) (三十三才)
上京拾六区黒門通

一条下ル飛弾殿町

酒井伝兵衛男

植証符有 元治良 十二才

七月廿二日生

浄土宗寺町四条大雲院旦那

明治十一歳十月二日ヨリ

「(横書)
少々不都合ニ付

暇遣ス事」

(40) (三十三才)
御府下丹波桑田郡

廿三区田村 農 道本太助

天 妹 なを

廿三才

京宿上長者町油小路東入町

明治十一歳 百里林源七

十月六日ヨリ 十二歳十月断

(41) (三十三才)
上京第廿五区

麩屋町夷川上町

岩田源兵衛

娘 はる

植天 十七才

明治十一歳拾月ヨリ

明治十二歳四月断

(42) (三十四才)
御府下綴喜郡第三組飯岡村

農 出嶋庄五郎

男 定吉

植 十四才

十二月七日生

浄土宗西方寺旦那

京宿八組 上 岡崎利助親ニ附

万端引請事

明治三月十三日ヨリ 十二歳

明治十六年八月度々不埒ニ附

十月ニ断

(43) 三十四丁裏 上京廿四組間之町二条上ル夷町

青木儀助 長男

十二月十八日 徳 松

植 十二才

上京老組堅若宮町

西邑儀八殿世話人

明治十二歳三月十七日ヨリ

十三歳八月廿五日仲人西邑儀三郎へ

断、夫々義三郎殿即尅宿元へ

送渡者也、

(挿入紙片) 明治九子四月入学

同十一年九月退校

お許事」

(44) 三十五丁裏 御府下相楽郡第貳組ひし田邑

一宮権三郎 長男

植 角次郎

十四才

悴而テ出ス

明治十二歳一月廿五日ヨリ

七代目相統人喜八兄権三郎ト約定
届在之候故上京之事 死去致ス也、

明治四未七月ヨリ入学

九子 明治十丑杓月ヨリ入学

々々 明治十二卯杓月退校

(45) 三十五丁裏 夷川富小路西入町俵屋町

弘化元 車道与兵衛

辰ノ年 天 娘三十六才

八月十八日生

明治十二歳十月ヨリ おしん

同歳四月断

(46) 三十六丁裏 下京第十一組白楽天町

明治十三歳 雑業 小幡里之助

三月一日ヨリ 十一歳一ヶ月

植三度濟 三月一日生

上京第廿三組新町二条上町

七百廿四番地 友仙職小幡七悴半

明治十一年十二月分家致ス、辰八月

断

上京六組末ノ口町

尤親類也、橋本藤吉世話人

(47) 上京第拾弍組三帶町

士族 多賀正光孫

証符入植 午一郎

明治三 十ヶ歳二ヶ月
六月六日生

真如堂

上京三組寺前町

世話人 親類ニ附万端引請

大野惣兵衛殿

明治廿一年八月十四日之夜

宿元へ願候事

(横書) 明治廿二年十月廿日 ニテ

早々暇遣ス事

(48) 上京第壹組大宮頭若宮町

平民 松尾伝吉

長男 徳次郎

十二才 十ヶ歳

七月十一日生 十一ヶ月

浄土宗上京
壹組

大推寺 (相カ) 証符有

六月帰ル、

世話人同町

西邑儀八殿

(49) 御府下北丹波北桑田郡

第弍組中路村 (地)

農 和田半兵衛

明治三 午種 長男 音松

正月八日生 十二才

愛宕郡東紫竹村 姉むこ

世話人 農 今井兵次郎

親類ニ附万端引請

〔續書〕
明治十六年十一月二

不埒ニ附暇遣ス也
L

〔三十八丁書〕
50) 上京三区大黒町

十三年
七ヶ月
谷川柳介殿
長男 利之介

明治十四年
五月廿八日
三十日

明治廿年
七月十四日宿元へ預ケル事

明治廿年
十月九日

少々不都合之儀ニ付
本家

暇遣ス事
世話人勝山米二郎殿

〔三十八丁書〕
51) 上京区三十組
明治十九年九月少々不都合
義有之、暇遣候事

御池通富小路東入町

三月一日生
平次ひざ

丸十一才
戸主 勇治郎

十才七ヶ月
植 二度目

明治十五年八月二日

親族
世話人

長谷川巳の助

〔三十九丁書〕
52) 上京三組

姥ヶ寺之前町

大の惣兵衛

清三郎
長男 十一才

明治十六年

六月二日

丸十年四ヶ月

〔三十九丁書〕
53) 上京第八組

よし屋町
舞鶴妙之祐

戸主
亀次郎 十一才

八月十四日生

十年四ヶ月

明治十六年十一月拾六日預リ入ル、

お重の甥

明治廿八年三月十七日出ニテ
参宮す、廿日帰店仕候也、
明治廿九年四月
当家へ参る、

(54) ^(三十一丁表)上京区第三組蛭子町

佐々木多助

戸主 長男 房次郎

明治五年春月生

明治拾七年四月 十二年三ヶ月

上京区第三組真倉町

世話人 三柴権八郎

明治廿一年五月十日ヨリ

不都合義出来有ニ附
宿元へ預候事

(横書) 一明治廿三年二月七日家出不
都合ニ付、暇遣ス事

(三十一丁裏) 一明治廿三年二月七日家出不
都合ニ付、暇遣ス事

(55) ^(三十一丁裏)上京区第壹組若宮堅町

西村儀八

三男幸治郎
明治六年五月生

明治十八年

二月二日雇入、

明治廿年

五月病氣ニ付暇遣候事

(56) ^(三十一丁表)上京区第壹組横社町

山田太助 養男

万治郎
明治八年四月生

明治十八年

十一月二日雇入、

上京区第拾^六組役人町

世話人東や橋本嘉兵衛

(横書) 一明治廿七年五月廿日店出至之候、猶

不都合有暇遣事

(57) ^(三十一丁裏)下京区第三組山伏山町

澤田吉兵衛長男

明治十九年

二月二日雇入、 戸主 吉之助
明治三年四月生

上京区第廿八組役行者町

世話人 林 藤助

(横書) 一明治廿九年六月七日別家並申付事
全年八月十日目録ヲ相渡す、

全二十五年七月退店引限り大阪下リスル事

(58) 三十三丁表
上京区第七組西亀屋町

本郷弥七次男

弥三郎

明治十九年十一月生

明治十九年

八月一日雇入、

（倉 眠む）
イ子フリニ付

不都合ニ付卅二年七月暇遣ス、

店方 有り、

(59) 三十二丁裏
若狭国高浜三明町

島津九良兵衛

長女 いよ

明治十七年

四月雇入、

慶応三年二月生

明治十九年十月一日帰ル、

(60) 三十三丁表
近江国滋賀郡仰木村

壺井清右衛門

三女 すみ

明治十九年

四月三日雇入、

明治六年十一月生

明治廿年

十月一日帰ル、

(61) 三十三丁裏
丹波国北桑田郡第十六区中地村

和田嘉市郎

長女 しよ

明治廿一年十月五日暇遣し候事

(62) 三十四丁表
上京区第九組革堂町

中西順造次男

店方 有り、

秀三

明治九年六月生

明治貳拾年

九月八日雇入、

右同区同町

世話人 木村久吉

（發意）
不都合ニ付卅三年

六月暇遣ス

(63) 三十四丁裏
近江国滋賀郡

（伊香）
烏賊立村

横田才次郎

明治廿年

二妹 とき

十月三日

明治元年二月生

雇入、

明治廿六年四月暇遣事

(64) ^(三十五丁表) 下京区第十八組大江町第三拾五番戸

平民

実兄 安川九兵衛

同居人 安川康三郎
本人 慶応三年四月廿四日生

明治廿年

十月廿四日雇入、

明治廿一年七月三十日 ^(懸) 縣集々

〔之不都合ニ付、早々御暇遣候事

長々々々々之暇遣し候事

(65) ^(三十五丁裏) 上京区第拾七組花立町五番戸土族

実兄

野口 徑

三男 政一

証符有

改名 正吉

当年十四才

明治貳拾壹歳六月雇入り、

右世話人 同区全町

安田庄太郎殿

○注 野口徑ト働ノ杉本政道トハ異称同人ナリ。
(三十六丁表)

(66) 上京区第拾組新一条殿町拾四番戸

実兄 岩田政二郎

証符有 妹 たけ

当 拾八才

明治廿老年十月三日雇入ル、

明治廿三年十月 暇遣ス事

^(三十六丁裏) (空白)

(67) ^(三十七丁表) 上京区室町中立売下ル花立町五番戸

明治廿三年八月廿日、 杉本政道 ^(改)

通勤 明治八年二月十五日生

改名正吉
明治廿七年一月 改名正七

右世話人 安田庄太郎 ^(全区全町)

明治廿老年 明治卅四年三月

六月十四日雇入、 親類舞鶴家へ
養子遣ス、

(横書)
全年六月分家分ト
ナス事

明治三十八年退店開業ス
「後全年 月 日」

(68) 京都市上京元拾貳組

寺町通今出川三丁上ル西江入

毘沙門横丁九番戸

都合ヨリ 平民 伊達平八
暇遣ス事 三男 金之助

改名 金吉

明治廿三年 三月七日雇入、 拾菴才

明治拾貳年六月三日生

廿六年十二月

右世話人

野口徑殿

(69) 若狭国高浜三明町

島津九良兵衛

次女 やす 拾八才

明治六年三月三日生

明治廿三年 十月雇入、

明治廿六年四月

暇遣ス、

(70) 京都市上京元廿組衣棚通り出水下ル

廿七年秋 常泉院町八番戸

全市全区車屋町竹屋町下ル 村田源次郎

小將井御旅町転宅ス、 同居ニテ第三男

明治三十五年八月伊勢参宮 戸主名村辰之介

スル事主人同道ニテ 明治卅九年三月少々不都合有ルナレド 改名 辰吉

内分ニテ計シ再勤申附事 明治拾三年 九月六日 改名 辰七

(靈脱カ) 市上京御ノ森 百禅寺旦那

世話人 明治廿四年三月雇入、

岡本五三郎殿

(71) 滋賀県下近江国滋賀郡旧拾四組

伊香立大字上在地村廿四番地

平民 中村長七

明治拾三年 二男 芳三郎
拾壹才

九月廿一日

同国同郡 本人病氣多ク明治廿七年
下在地村 一月十六日ニ養長(養生カ)ニ宿元遣シ
同年二月四日死ス、
其ニ付改服遣ス、

知恩院末
新知恩院旦那

世話人

永居市兵衛殿

(72) 京都市上京元拾六組中立売通り
(三十九才)

黒門東江入役人町貳拾貳番

平民 高橋茂七

本人父茂七事、本人入営中は南店奥ヲ
貸与シ、世話致し遣ス、三十七年十月
中旬ヨリ病氣ナシテ同月三十日死亡ス、明治拾三年十月
幸イ本人内地掃リ、居タル節内ヨリ葬式
出シ、本葬式は本人宿坊ニテスル事、
三十一日生

改名 由吉
改名 勇七

明治廿四年四月八日雇入、

明治三十三年十二月一日淡路由良入営スル事、
明治三十六年十一月兵士ヨリ掃店ナシ、三十七年五月
日露戦ノ節入営出兵ス、三十八年十一月再掃店ス、
三十八年十二月主人同道伊勢参宮之事、
明治四十年十月八日別宅申附

嫁ハ服部寿との娘なを呉娶ル事、
大正三年二月一日退引自宅開業ス、

(73) 滋賀県近江国滋賀郡
(四十才)

伊香立村大字下在地

京都仮宿

寺町広小路上ル

福田弥一郎

改名長七 十才才
明治十五年九月廿六日生ル

明治廿六年六月廿四日雇入、

世話人

永井市兵衛殿

(74) 京都市下京区大黒町五条上ル
(四十才)

音羽町九番戸

上村藤次郎

平民 長男 万次郎

建仁寺町五条上ル

改名藤吉

妙順寺旦那

明治十五年九月廿七日生ル

明治廿七年八月二日雇入ル、

明治卅三年二月病氣ニ付宿元

引取養生中六月養

生カナワズ死スニ付暇遣ス、

世話人

河野市兵衛殿

(四十一丁表) 葛野郡下嵯峨村百参拾壹番戸

飯宿 市内西洞院万寿寺下ル 吉田万助方同居人

三国明殿預

並川新次郎

明治廿七年七月

日雇入ル、元服ヨリ

改名 幸七

三十七年九月神助ニテ日露戦ニテ集入營三十八(ママ)ハス
出兵ナシテ三十九年一月三日歸リ五日ニ帰店ス、

廿六才ニ大成不都合致シ

暇遣ス、

(四十二丁裏) 京都市上京区今出川通り寺町西江入

大原口町

平民 秋山富之助

三男 信次郎

十四才 改名信吉

明治十五年 月 日生ル

明治廿八年二月廿四日雇入、

都合ヨリ暇遣ス、

世話人

紋屋町

田中市五郎殿

(四十二丁表) 滋賀県近江国犬上郡大字地藏

平民

馬場

次男 嘉四郎

改名 嘉吉

明治十六年 月 日生入

明治廿八年三月 日雇入ル、

世話人上三寺之内知恵之院西入上ル

馬場喜三郎殿

都合ニヨリ暇遣ス、

(四十二丁裏) 京都市上京区寺之内通

小川西江入 下女ニ

山城治助

長女 若
十八才

明治廿六年十月雇入ル、

明治卅年秋今出川通堀川東江入

平野常七へ嫁入ニ付暇遣ス、

祝ニ遣ス

(四十三才裏)
(80) 近江国滋賀県高嶋郡

安曇村大字田中内上田

明治十年

月生レ

伊藤治兵衛

梅次郎
十四才

明治廿八年十月雇入ル、

明治廿九年九月暇遣ス、
都合ヨリ

(81) 京都市上京区大宮通寺之内上ル
(四十四才裏)

卷丁目前之町卅八番戸

野村兵助

明治十八年四月生レ次男 米次郎
十二才

改名 米七

明治廿九年六月八日雇入、

三十八年八月ヨリ歳子申附シ始メサス事

不都合致し暇遣ス、

(82) 滋賀県大津町字下平倉町
(四十四才裏)

田中利助

(79) 近江国滋賀県伊香立村
(四十三才裏)

大字名上在地

入口市次郎

長女 元

明治廿七年十月雇入ル、

明治廿九年十月一日も暇遣ス、

又卅年四月当家参リ卅四年嫁入ニ付暇遣ス、

「手覃司
(横書)

針箱キヨ台ヲ

針箱キヨ台ヲ
(鏡)

孫ニテ長女菊

二十二才

明治廿九年十月雇入ル下女ニ

都合ヨリ暇遣ス、

(四十五才表)
(83)京都市室町通り上立売上ル

室町頭町廿六番戸

平民 久布自嘉一郎

長男 茂蔵

通名 茂吉

明治廿年三月五日生レ
十一才

明治三十年八月十四日雇入、

不都合有暇遣ス、

世話人 野口徑殿

(四十五才表)
(84)京都市東洞院丸太町下ル

平民 久保井定次郎

次男 謙之助

改名 謙吉

十二才
明治廿年十二月八日

明治三十一年六月二日雇入、三十八年八月廿八日

世話人野村殿ヨリ 病氣ニ死去暇遣ス、

お菊さん

(四十六才表)
(85)京都市西洞院通り御池下ル三宮西洞院町

丹羽善兵衛

大正元年十一月別宅式致ス、 次男 常太郎

大正貳年二月別宅ヲス、 元服 改名 常吉

油小路下立売下ル 改名 常七

妻ヲ娶事 明治十八年十一月一日生

明治三十一年十一月廿八日雇入、

大正拾年一月八日退店

世話人 自宅ニ開業ス事

野村おふさ殿

(四十六才表)
(86)京都市小川通元誓願寺下ル

平民 角川宇能

戸主 八太郎

改名 太吉

十一才

明治廿一年
十二月十九日生レ

明治三十一年十一月十日雇入、都合ヨリ
暇遣ス、

世話人

松山孝次郎殿

(87) 京都市油小路通り下立売下ル西裏辻町廿六番戸

平民 井出忠三郎方

同居 井出ラク

長男 伊之助
十四才
改名 安吉

明治廿一年

四月十二日生

明治三十四年三月十四日雇入、

世話人

瓦師

宮原殿

(88) 葛野郡花園村字谷口

葛

平民 村田駒次郎

都合ニヨリ暇遣ス、

明治廿一年
八月十六日生 長男 光之助
十四才
改名 幸吉

明治三十四年五月廿日雇入、

世話人

店辰七

不都合にて暇遣ス、

(89) 葛野郡花園村字宇多野

平民

本郷伊之助

明治廿四年
六月四日生 長男 伊之助
十四才
改名 巳之吉
十一才

明治三十四年四月八日雇入、

四拾三年一月改名栄七

世話人 福寿院

大正七年十月別宅申附事
(光脱)
元誓願寺知恵院東入ル
大正八年拾貳月拾壹日近江坂田郡息長村字笠
浦北川藤平三女ふじ(廿三才)
妻迎候、大正十三年一月退店開業ス、

(90) 京都市丹後国中郡峰山町字白銀第八番戸

当時小川今出川上ル中小川町堤市松方寄留

平民 小谷直五郎
嘉永四年四月生レ
証人

明治三十三年十二月八日雇入堤八郎方店番

世話人 野口徑殿 大宮一条ニ撚リ糸業ヲ開業ス、
明治三十八年十一月願ニヨリ暇遣ス、

(四十九才表)
⑨1京都市太宮通り上長者町上ル常ち町

平民 栢本源次郎

長女 ひさ 十六才

明治十七年八月三日生レ 改名 はる

明治三十二年十一月十四日雇入、

世話人

実父

三十九年四月願ニヨリ暇遣スニ付、
四月九日引取ル事、永年
勤メ居リシ付、別家心附ス事

(四十九才表)

⑨2近江国荻賀郡伊香立村字下在地

平民 寺田久次郎

明治十五年 妻 むめ
四月十日生レ

明治三十四年四月雇入、

三十六年六月四日親病氣ニ付、
不都合ナガラ暇遣ス事

(五十一才表) (一才)
⑨3但馬国城奇郡香住村

平民 北村弥一郎

二女 しが

明治十五年

十一月廿五日生レ

改名 まさ

明治三十四年四月雇入、

三十五年十月暇遣ス、

(五十一才表)
⑨4京都府下南山城相楽郡狛田村字菱田

六代目卯兵衛出生一宮権三郎分家

平民 一宮熊次郎

二男儀三 明治廿三年十二月廿八日生

改名義吉 四拾貳年一月改名義七

十四才参ル

明治三十五年一月十六日御替都合目見参リ二月四日戻ス、

明治三十六年四月五日参リ雇入ル、

大正七年式月八日別宅申附事

大正七年五月協議上親族川村たつ方養子ニテ

入家ス、大正十年十二月退店開業ス、

(五十二丁表)
⑨5京都市上京区大宮通り寺ノ内上ル西入二丁目觀喜町

平民
操拔業 友田忠蔵

明治廿五年三月廿一日生 長男 太吉

改名 忠吉

十一才ニテ雇入、
元服改名 太七

明治三十六年二月二日雇入、本人母前別家巳之助方下女ニテ

大正二年十一月不都合有リ、解雇ス、

(五十一丁裏)
⑨6京都市上京区大宮通り今出川上ル觀世町

戸主 平民 青山武次郎

明治廿三年二月十一日生レ 改名 武吉十四才參ル

四十才年一月改名 武七

明治三十六年四月十二日雇入ル、
世話人同町泉武助殿

明治四十三年十二月入營ス、請損金ナル事 [] 事等

大正元年十二月帰店ス、

大正五年十一月大不都合有暇遣ス、

(五十二丁表)
⑨7京都府上京区大宮通一条上ル青殿町

平民 相本文七

明治十年五月一日生レ 二女 たね

改名 まさ 廿三才

明治三十五年十月四日雇入、

三十九年十月暇遣ス、

(五十二丁裏)
⑨8丹波国北桑田郡黒田村字下黒田

平民 材木商 由里与之助

長女 小民

明治十七年十一月八日生 改名 うめ 廿才

明治三十六年七月廿六日雇入ル、

暇遣ス、

(五十三丁表)
⑨9葛野郡花園村字谷口

農業 田中弥太郎

次男 弥二郎

明治廿七年十月廿五日生十一才ニテ
改名 弥 吉

明治三十七年八月二日雇入ル、

世話人 孝吉父
村田駒次郎殿

都合ヨリ暇遣ス、

(100) 京都市大宮通寺之内上ル前之町
(五十三才)

木村伊三郎

甥 藤木米太郎

明治廿七年四月六日十二才ニテ参ル、

改名 増吉 不都合ニ付

元服改名 増七 暇遣ス、

明治三十八年九月四日雇入ル、

世話人米七親

野村兵助殿

(101) 葛野郡花園村字谷口上ノ町
(五十四才)

農家 太田嘉吉

三男七次郎

明治廿七年四月廿日十二才ニテ参ル、

改名 房吉

明治三十八年九月十八日雇入ル、

暇遣ス、

世話人

村田駒次郎殿

(102) 京都市新シ町御池下ル大文字町
(五十四才)

酒商 小林末三郎

三男 清吉

明治廿七年五月廿七日生

十三才ニテ参ル、

明治三十九年四月四日雇入ル、

全年五月早々

都合ヨリ暇遣ス、

世話人 店勇七

(103) 京都府下丹後国中郡峰山町字泉
(五十五才) 大正三年八月

病氣ニ付

退店ス、

平民

井上啓次郎
安政元年寅四月生

当時京都市一条通大宮西入

改名 豊七

明治卅八年十二月廿二日雇入ル、

世話人店直七

(104) 京都市建仁町松原下ル弓矢町
(五十五才)

魚商 平民 川井岩次郎

長女 しづ 三十九年
十月暇遣ス、

明治廿年十一月十日生

改名 うめ

明治卅八年四月七日雇入ル、

世話人丹屋ゆき

(005) 京都府丹波国北桑田郡

山国字比加江平民

農業 加藤弥吉

次男 嘉四郎

改名 嘉吉

明治三十九年四月十四日

明治四拾年四月二日雇入、

世話人 店ノ巳之吉

(008) 京都市上長者智恵光院西へ入

大工職 横田林之助

五男岩三郎

改名 岩吉

当时十一才

明治三十年七月廿八日生

元服改名岩七

明治四拾年四月三日雇入、

世話人 実兄

横田林三郎

(009) 京都府下葛野郡花園村字御室

植木商 西沢貞治郎

大正三年十二月入營ス、

都合ヨリ 暇遣ス、

大正拾四年二月別宅申附

大正拾五年 月廬山通

浄福寺西入 林 三女

いと嫁申受事

大正拾五年 月廬山通

大正拾五年 月廬山通

浄福寺西入 林 三女

いと嫁申受事

改名 はる 暇遣ス、

明治廿貳年八月廿五日生

長女 ゑん

材木商 新井鶴之助

明治三十九年四月十日雇入ル、

(006) 京都市寺之内通千本西入柏羽清盛町

摺糸業 衣川庄吉 大正貳年貳月

長男 庄之助 不都合ニ付

改名 利吉 暇遣ス、

明治廿六年十月七日生

明治三十九年七月廿八日雇入ル、

(007) 京都府葛野郡花園村鳴滝字宇多野

次男 全 信次郎 大正五年十二月婦店ス、

改名 信吉 大正十一年式月八日

元服改名 信七 大正十一年五月六日妻ヲ

明治廿七年七月廿七日生 丹羽和三郎二女 ヲ申受

当年拾四才 大正十五年一月退店開業ス、

世話人店ノ弥吉

明治四拾年老年

九月拾七日雇入、

世話人店ノ高橋由太郎

〔10〕京都市今出川通室町西入堀出町

豆腐商 倉橋清三 大正五年十月

実弟 国太郎 不都合有

元吉 暇遣ス、

明治三十年式月廿日生

当年十式才

明治四拾老年七月廿六日雇入、

世話人 林金三郎殿

〔11〕京都市上京区広小路河原町西入

古道具商 骨董 堤 市之助

大正十一年十月二日別宅申附事

改名 順吉 大正十式年十一月廿日上田嘉吉

元服改名 順七 大正十五年一月退店開業ス、

明治廿八年八月十五日生

当年十五才

世話人店ノ高橋由太郎

明治四拾式年四月式日雇入、

世話人店ノ高橋由太郎

〔12〕大阪府南河内郡石川村字市菅須賀

農業 野村藤太郎 大正六年十二月一日近歩兵

次男 甚 蔵 入営ス、大正八年十二月婦

改名 甚吉 大正八年十二月婦店ス、

明治廿九年十二月二日生 大正十四年二月別宅申附

元服改名 甚七 大正十五年十月寺之内通千

当年拾四才 本東入服部 長女とき嫁申

受事

明治四拾式年四月拾三日雇入、

世話人 野村久次郎殿
(六十才)
(13)京内下立壳通松屋町西入

樽商 田中徳三 明治四十三年拾月十六日

長女 きく 暇遣し四拾五年

改名 まさ 三月七日再雇入ル、

はるトナル

明治三十三年一月式日生

当年式十才

十八才

暇遣ス、

明治四拾一年拾月十七日、再雇入、

世話人 一条川村餅屋

(14)京都府下葛野郡花園村字鳴滝
(六十才)

農業 村上藤吉

長女 ひさ

改名 むめ

明治廿三年四月八日生

当年式十才

大正四年四月

暇遣ス、

明治四十三年八月廿八日雇入、

下女

世話人 店ノ栄七

(六十一才)
(15)但馬国紀之崎郡阿芸村

農業 咲花儀三郎

長女 きし

まさ

明治四十三年
五月暇遣ス、

明治三十三年五月十八日生

当年式十才

明治四十三年拾月五日雇入ル、

世話人 一条川村餅屋

(六十一才)
(16)茲賀県茲賀郡茲賀村字錦織
(七才)

墨田捨吉

長女 きく

はる

明治廿七年五月六日生

真宗 明治四十四年

十月暇遣ス、

禪宗 すゑ

明治四十四年四月雇入、

まさ

(117) 茲賀(送) 茲賀縣下坂本村字下阪本

明治二十八年二月八日生

小沢吉兵衛

大正貳年十月雇入、

長女 みや

世話人 一条川村

まさ

(120) 府下葛野郡花園村字字多野福王寺

明治廿四年四月十一日

寺石幸次郎

浄土宗 大正元年十月

長女 みよ

明治四十四年十月

浄土宗 うめ

暇遣ス、

(118) 市内元誓願寺通り千本西入鶏肉商

大正四年杳月廿日雇入、

田中松之助

世話人 前ノウメ

長女 かず

(121) 府下相染郡狛田村字菱田

改名 はる

土族 堀正太郎

五年間勤メニ付
手篋司鏡台針さし祝遣シ
暇遣ス、

大正元年四月雇入、

長男 武之 不都合有

一条餅屋(世) 世話人

浄土宗 改名 音吉

暇遣ス、

(119) 兵庫縣城崎郡口津村ノ内上計村

明治三十年一月廿五日生

今西源吉長女

明治四十四年九月廿日雇入、

宿郷里掘すが

世話人店ノ義七

(122)府下相楽郡狛田村字菱田

農 中野庄太郎

三男秀三郎

改名 秀吉

浄土宗

元服

明治三十三年九月一日生

明治四十四年九月廿日雇入、

世話人店ノ義七

(123)府下久世郡寺田村学校前町

農 池垣伊之助

三男 省三

改名 孝吉

浄土宗

明治三十一年十二月八日生

明治四十四年十一月十九日雇入、

宿室町通一条上ル東入

巖 玄次

世話人店ノ元吉

(124)岐阜県養老郡時村大字時山

農 川添大吉

二男嘉平

改名平吉

真宗

明治三十一年十一月十九日生

明治四十五年五月十三日雇入、

宿 市内六角通柳馬場東入
中村仁平

世話人 中村仁平殿

(125)市内小川通三条上ル

ゑり商大橋音七

二男大次郎

改名彦吉

大正拾貳年春

不都合有暇遣ス、

大正十一年一月彦七ト改名ス、

明治三十八年四月十日生

大正二年四月二日雇入、

大正拾壹年一月改名

彦七トス、

(126) 市内下京区室町通松原下ル元両替町

大物商吉村梅吉

二男棟三郎

病氣ニ附

改名留吉

暇遣ス、

真宗

明治三十一年九月七日生

大正三年四月三日雇入、

世話人 安村吉之助殿

(127) 市内下京区東洞院通四条上ル

通勤浜田岩吉

長男源太郎

大正拾年一月

真宗 改名源吉

宿元家事都合ヨリ

暇遣ス、

明治三十三年一月廿九日生

大正三年四月二日雇入、

世話人 高橋由太郎殿

(128) 市内上京区衣棚通二条上ル

帯地商北村弥太郎

長男健次郎

真宗 改名健吉

都合有リ

暇遣ス、

明治三十四年三月廿一日生

大正參年四月八日雇入、

世話人 舞鶴正七殿

(129) 市内寺之内浄福寺西入二丁目

幸田虎之助

大正十一年八月改名多七トス、

悉營業長男

幸太郎

病氣ニテ病院

店通名虎吉

入院大正十三年

真宗

死亡ス、

明治卅六年十月廿一日生

大正五年三月廿八日雇入、

世話人

西村岩次郎殿

(130) 市内竹屋町猪熊西入上ル

無職 藤井正蔵 孫

二男 寅雄 大正拾年六月三十日

店通名 政吉

不都合ニ付
暇遣ス、

明治卅五年七月十四日生

大正五年五月廿八日雇入、

世話人

舞鶴正七殿

(131) 市内千本通芦山寺上ル

農業 大森惣四郎

三男陸三郎

大正八年不都合ヨリ
暇遣ス、

店通名 惣吉

明治卅五年

大正五年七月二日雇入、

世話人室町四条下ル

足立源七殿店員

(132) 京都府相楽郡木津町字城戸

農業 入田万吉

二男 利穂

店通名 利吉

明治卅八年 生 大正七年五月

大正六年八月廿五日雇入、 都合ニ依リ
暇ヲ出ス、

世話人

同郷入田久四郎殿 其後御池川村来る、

(133) 京都府相楽郡狛田村字菱田

農業 宮原辰之助

二男 寅蔵 大正八年

店通名 辰吉 不都合ヨリ
暇遣ス、

明治卅五年十二月廿一日生

大正六年十月廿五日雇入、

世話人一宮権次殿

(134) 京都府相楽郡狛田村字菱田

農業 高田熊

大正十三年一月改名直七トス、

長女 とく

改名 むめ 都合ヨリ
暇遣ス、

高田松之助 大正十三年九月

明治卅三年四月十七日生

二男 直蔵 大不都合十月

大正六年四月一日雇入、

改名 直吉 暇遣ス、

世話人田中弥三郎殿

(137) 市内小川通り一条上ル

明治卅六年十月十日生

平民 織物業 長谷川鶴吉 別家申付ク、
昭和 大正八年秋

大正七年四月十八日雇入、

世話人一宮権次殿

長男長次郎 拾五才 昭和十二年一月

(135) 滋賀県滋賀郡仰木村字今町

農業 伊藤重太郎 大正八年三月

明治三拾八年十一月五日生 独立開店ス、

二女 きさ 嫁入ニ付 暇遣ス、

改名 まさ

世話人山本彦三郎殿

明治卅一年四月十三日生 針さし

(138) 京都市今出川七本松西入

大正五年十月一日雇入、 鏡台遣ス、

死喜太郎父 宮内はる 母 大正十一年八月

世話人一条餅屋

長男喜一郎 不都合ニ付 暇遣ス、

(139) 京都府葛野郡衣笠村字大将宮

農業 木子作二郎

改名 春吉 十七才ニテ參ル、

明治三十七年三月廿一日生

大正九年三月廿七日雇入、

下立売七本松西入

・浄円寺旦那

世話人高野栄次郎殿

(39) 京都府宇治郡醍醐村字醍醐

平民 農業

内見竹次郎

大正十三年四月兄死ニ

ヨリ本人暇遣ス、

二男新五郎

改名 新吉

十五才ニ参ル、

明治三十九年三月六日生

大正九年三月二日雇入、

世話人西田伊之助殿

(40) 大阪府下南河内郡黒山村大字太井

平民 農業

柳本小留

昭和元年十一月廿三日

三男隆三

家出ス事

拾四才

明治四拾年十一月八日生

不都合有、其後

大正九年四月五日雇入、

親族より参り不申、

改名留吉

世話人店甚七

(41) 京都府下相楽郡相楽村字曾根山

平民 農業

高田与三郎

昭和五年七月

二男 弘

都合ヨリ暇遣ス、

改名 与吉

十六才

但し

明治三十九年八月一日生

勝手者之不都合ニ付テノ事

大正十年四月十二日雇入、

世話人一宮権次殿

(42) 島根県簸川郡久木村字南村

平民 農業

王木虎市

昭和七年二月廿一日

四男 繁

大ノ不都合有リ、甚七

拾七才

方ニ預ケ廿四日改メ

明治三拾九年九月十五日生

解雇ス、

大正拾壹年八月四日雇入、

改名 繁吉

世話人店甚七

(143) 市内大宮通り寺之内東入東入北小路町

機業家 木村常七

長男兵一 家事都合

改名兵吉 拾五才 ヨリ暇遣ス、

明治四拾年拾壹月十五日生

大正拾壹年拾貳月拾五日雇入、

世話人 店栄七

(144) 近江蒲生郡金田村字長田

平民 農業

小西清蔵

大正十五年四月

長女セキ 拾六才

嫁入するニ付

暇遣ス、

明治三拾七年十月七日生

嫁入道具ヲ

大正八年一月廿七日雇入、

祝トシテ与ス、

改名 はる

家内ヨリ帯ヲ

世話人川村たつ殿

祝フ事

(145) 近江蒲生郡金田村字長田

平民 農業

小西清蔵

大正拾貳年

二女きよ 拾六才

四月暇遣ス、

明治四拾年十月卅日生

大正拾壹年九月二日雇入、

改名まさ

世話人姉はる

(146) 京都府相楽郡西和束字石寺

平民 農業

岩垣為吉

大正拾壹年

長女とらの 拾八才

八月暇遣ス、

明治三十八年八月 生

大正八年二月四日雇入、

改名 まつ

世話人一宮権次殿弟

小林元三郎殿

(147) 京都市笹屋町通千本西入

平民 農業

山本鉄之助

昭和四年一月改名竹七

三男 尚三 拾四才

全年八月ヨリ飯台へ上ル、

昭和五年春

明治四十三年^三 月生 勝手出テ暇遣ス、

大正拾貳年四月八日雇入、

改名 竹吉

世話人 機業家山本とめ殿

(148) ^{七十七才}京都市油小路竹屋町南入

平民 藤木 正 昭和四年十月改名梅七

四男政二郎^{拾参才} 全年八月ヨリ飯台へ上ル、

明治四拾四年三月廿日生

大正拾貳年四月十三日雇入、

改名 梅吉

世話人店甚七

(149) ^{七十七才}京都市堀川通り元誓願寺下ル

平民 田中与作
無職

父田中藤作 昭和貳年一月

貳男 政一^{拾三才} 暇遣ス、

明治四拾四年一月十七日生 兄死ニ付

大正拾貳年九月廿六日雇入、

改名 藤吉

世話人箱屋橋爪仁三郎殿

(150) ^{七十八才}丹波国北桑田郡山国村字初川

平民 小野定次郎 暇遣ス、
農業 長女 富江^{拾七才}

明治四拾年八月十九日生

大正拾貳年四月十式日雇入、

改名 まさ

世話人口入屋

(151) ^{七十八才}京都市智恵光院一条上ル

平民 藤原重吉 昭和三年五月

糊糸業 二男沢之助 家事ノ都合

改名 重吉^{十六才} ヨリ暇遣ス、

大正十四年四月一日雇入、

明治四十三年一月八日生

世話人北村嘉市殿

世話人北村嘉市殿

(七十九才) 152 京都市御前通一条下ル下方町

織物業福岡石松 昭和六年八月改名豊七トス、

二男豊吉 昭和七年一月一日飯台上ル事

改名豊吉 〔鉛筆巻〕昭和十五年十一月二十五日応召

大正二年五月廿八日生

大正拾五年五月式日雇入、

世話人川村芳之殿

(七十九才) 153 京都市府船井郡園部町宮町

大町嘉吉

二男幸三 昭和五年式月

改名嘉吉 暇遣ス、

大正四年四月一日生

大正十五年五月三日雇入、

世話人店之岩七

(八十二才) 154 京都市上京区今出川小川東入上ル北兼康町

織物業 武山源次郎

二男 嘉吉 昭和六年八月改名源七トス、

大正二年二月廿五日生 昭和七年一月一日ヨリ飯台

改名 源吉 十五才ニテ

昭和二年六月廿二日雇入、昭和十一年十二月

世話人店与七 依願暇与フ、

(八十二才) 155 京都市上京区六軒町通り笹屋町下ル

撚糸業小嶋仙吉

長男正道 昭和六年八月改名太七トス、

生明治四十三年 昭和七年一月一日飯台へ上ル

七月廿八日 事

改名 太吉 但シ、十九才ニテ

昭和三年三月九日雇入、

世話人本郷栄七

(八十二才) 156 京都市千本通高辻下ル

乾物商田井中秀吉 昭和七年八月

次男 哲尾 元服申スク、

大正三年九月三日生 昭和八年改名種七

改名 種吉 昭和十年十月ヨリ 十五才ニテ

昭和三年四月一日雇入、飯台上ル事

世話人店与七

昭和十五年九月三十日

退店依頼

(57)名古屋中区広路町字大藪四六

鹿子綾業加藤徳四郎

昭和八年八月

二男 俊雄

元服申付ク、

大正三年六月三十日生 昭和九年改名俊七

改名 俊吉

昭和十一年八月病氣にて

昭和三年四月 日雇入、

宿元にて死亡ス、

世話人松本久太郎氏

(58)京都市上京区鞍馬口通知恵光院西入

織物業 山本喜一郎

二男 義信

家事都合ヨリ

大正二年十二月十九日生

昭和三年六月

改名

暇遣ス、

昭和三年四月 日雇入、

世話人店秀七

(59)奈良市椿井町老丁目

亡父 奥田幾太郎 昭和五年 月 日

二男 幸二

店ニテ死亡ス、

改名 浅吉

埋葬式ヲスル事

親代宿元

京都府下相楽郡木津町字泉町、

吉川由太郎

昭和三年四月 日雇入、

世話人与七

(60)京都市上京区鍋町御前通西江入

金森菊造

昭和七年二月二日

母コト

家事ノ都合有リ

三男 美乃留

暇遣リ、金ル円也、

大正五年二月十三日生 慰勞金トシテ遣ス、

改名 美乃吉

市翔鸞校高等老年修業

昭和四年四月 日雇入、

世人本人兄

上立売武原店員

(八十三才) 京都市上京区裏門通一条下ル今新在家町

織物業三宅政治 昭和七年九月

長男憲治 家事都合有リ

大正三年五月十一日生 暇遣ス、

改名 憲吉

十六才

昭和四年五月十一日雇入、

世話人町内仲榮吉殿

店員

(八十四才) 京都市府下相楽郡狛田村字菱田

農業 豊田丑松

三女房枝

十六才

明治四十四年十二月六日

大正十五年五月三日雇入、

改名まつ

世話人一宮権次殿

(八十四才)

(八十四才) 京都市府下相楽郡狛田村字菱田

新司徳三郎

二女 静枝

十五才

改名 はる

大正三年 生

昭和三年四月十二日雇入、

世話人一宮権次殿

(八十五才)

(八十五才) 兵庫県木崎郡清龍村字太田

市内西院今田町

無業 中村幸太郎

三女 初子

廿才

明治四十一年十一月廿日生

昭和四年十月十二日雇入、

改名 まさ

世話人井筒屋

(八十五才) 大門河原

(八十五才) 福井県武生町吾妻区十一

村田安太郎 昭和十一年八月元服申付ク、

次郎
十四才ニテ

大正六年八月五日生

改名 安吉

改メ 安七

昭和五年四月十三日雇入、

世話人武生町松(マ)氏ニテ

幸七親族

長谷川 氏

(160) (八十六丁巻)京都府綴喜郡青谷村奈島

農業 望月順三

長男藤一

十五才

退店

大正六年二月十七日生

改名孝吉

昭和六年四月十五日雇入、

世話人高橋勇七

(八十六丁巻)

(167) (滋) 賀賀県下高嶋郡饗場饗庭村字旭村森

農 永江長左衛門

長女 小梅 昭和十年一月廿七日

明治四十三年三月十五日生

退ク、

京都宿寺町通鞍馬口下ル

洗濯業 足立留三郎方

昭和七年二月五日雇入、

改名 はる

世話人上田屋

(168) (八十七丁巻)丹後国舞鶴町字本町

無業 舛田力造 昭和七年

四女リツ子 四月入遣ス、(昭和九年)

大正貳年三月廿日生

京都宿七条本町九丁目

鉄工 姉之内 末花清太郎

昭和七年二月三日雇入、

改名 うめ

世話人上田屋

(66) 福井県小浜町多賀

小倉嘉吉

昭和十一年一月

次女とみ

暇遣ス、

堀川出水東入

林千代吉

昭和七年四月雇入、

改名 まつ

大正三年六月六日生

(70) 市内上京区笹屋町通御前通西入上ル

石川清吉

長男茂次郎

昭和十一年六月

大正六年五月十六日生 家事都合ニテ暇遣ス、

改名 茂吉

昭和七年四月二日

世話人高橋応三郎

(71) 京都市知恵光院寺之内東入大猪熊町

機料商北沢兼二郎

長男利一郎

退店ス、

大正六年十月十一日生

改名 利吉

昭和八年四月九日雇入、

世話人井関元七方美代吉

(72) 京都市堀川通今出川下ル橋之上町

中村久間三

長男中村一雄

大正十年五月二十七日生

改名 万吉

昭和九年四月十五日雇入、

世話人桃園校先生山田氏

(73) 京都府相楽郡木津町五丁目

大工 中 浅吉

昭和十一年十一月

暇遣ス、 大正三年六月十七日生

改名ウメ

(174) (九十丁表)

昭和九年四月八日雇入、

宿堀川中立売木村理髮店

京都市上京区御前通今出川下ル馬喰町

細川ハツ

長男 三郎

大正十一年四月廿六日生 十四才ニテ

改名 与三吉

昭和十年四月八日雇入、

世話人桃園校植村先生

岡山県真庭郡久世町惣

父農 岡田林太郎

母 岡田由子

四男 岡田明

改名 林吉

昭和十年四月廿六日雇入、

世話人 家喜捨郎

(176) (九十一丁表)
広島県 双三郡八幡村字雲通

父松尾武一

母全みさを

長女松尾静子

大正二年四月廿五日生

改名 はる

昭和十一年六月雇入、

宿猪熊樺木町上ル

宿元 兼田方

(177) (九十一丁表)
岡山県阿哲郡刑部町大字小阪部二五六九

父磯田宗太郎

二男 美津弘

大正十一年一月二十八日生

改名 弘吉

昭和十一年五月二日入店

岡山県刑部小学校長

浅田国一郎氏保証

(178) (九十二丁表)
岡山県吉備郡水内村大字原一二二〇番地

昭和十一年四月一日

帰る、

昭和十三年三月一日

本人ノ希望ニヨリ

退店ス、

農 鈴木隆四郎父

六男増田貞次

二月二十八日

二男鈴木 豊 昭和十六年四月十六日

大正十一年八月二十七日生

解雇ス、

大正十一年九月二十九日生

解雇

昭和十二年四月十日入店

改名 隆吉

広島市草津尋常高等小学校長

昭和十二年四月三日入店

原田智氏推薦

岡山県吉備郡

(九十三卷) 滋賀県滋賀郡伊香立村

維新尋常高等小学校長

農父西村卯之松

昭和十五年十一月

中島功行氏推薦

西村誠子

嫁入りニ付暇遣ス、

(九十二卷) 岡山県阿哲郡刑部町字小阪部

昭和十一年四月五日雇入、祝トシテ針箱遣ス、

父松原礼蔵

改メ はる

長男松原栄一

世話人山科 山本しづ氏

大正十一年八月一日生

昭和十三年十一月

(九十四卷) 原籍京都市上京区浄福寺通上立売西入真倉町七四二

昭和十二年四月九日入店

本人願依

浅田和三郎方

岡山県刑部尋常高等小学校長

退店

現住 全市寺ノ内通智恵光院西入大猪熊町五七

浅田国一郎推薦

浅田光三方

(九十三卷) 広島市古田町大字古江二二三

浅田正次郎

戸主父増田三代太郎

昭和十六年

明治三十三年一月二日生

昭和十四年八月二十五日雇入、
(九十四丁巻)
兵庫県城崎郡

黒坂利助方 昭和十六年

黒阪しかえ 五月暇遣ス、

昭和十二年十月雇入、

改名まつ

(九十五丁巻)
京都市油小路通元誓願寺下ル草堂西町

中川利吉

母 志津 昭和十六年九月七日

中川利次 暇遣ス、

通名利吉

昭和十五年四月雇入、
十五才

世話人桃園校広瀬善造氏

大正十五年十二月三日生

(九十五丁巻)
滋賀県栗田郡葉山村字宅屋

太田太三郎四女

太田みさを十八才

大正十二年一月三十一日

昭和十五年十一月雇入、

世話人智恵光院髪結ひおしげさん

(九十六丁巻)
滋賀県高島郡饗庭村字針江

海東仙之助長女

海東よの

大正七年六月二十一日生

昭和十六年六月五日雇入、

宿元寺町今出川上ル濯洗屋
(九十六丁巻、九十七丁巻、九十八丁巻)

(九十八丁巻)
下女之部

(九十八丁巻)
下女之部

(九十八丁巻)
西江州伊香立生津村

百姓長七娘 二月二日 下女

国元引取事 十八才

(九十八丁巻)
一丹波桑田郡神吉村

百姓惣兵衛娘 正月十四日 まさ

国元引取之事 廿一才

(189) 一上京(朱書)「二十一番組」衣棚榎木町(朱書)「上ル」
上ル町

吉住屋与兵衛娘(朱書)「門跡町」
ゑつ

三月四日暇遣ス、十六才

(190) (九十九丁表)一但馬豊岡下町 天稗屋庄五郎娘

下女(つむ)たり

西門徒光行寺旦那 十六才

三月八日より

京宿今幽川淨福東入町(寺脱カ)近江屋藤七

九月暇ヲ遣ス

(191) 一丹州龜山川原町 淨土西願寺旦那

山形屋豊介 下女まさ

二十三才

京宿新町今出川下ル

松本平助

(192) 一大宮廬山寺上ル町

丹波屋平七娘 下女くめ

二十才

(193) 淨土宗淨福旦那(寺脱カ)

元誓願寺黒門角 下女くめ

植木屋長兵衛娘 十八才

(194) 巳九月

但馬出石 下女まさ

龜屋平右衛門

禅宗殿上寺旦那

京宿釜座二条下

松前屋藤兵衛

午三月断

(195) 一丹州船井郡卷山村(言丁表)

百性庄兵衛 下女いし

真言宗妙栄寺

千本下長者町上ル町

丹後屋新介

三月断

(196) 一上京(言丁裏)西洞院二条下町

松屋太助娘 下女まさ

九月断 三女 廿六才

(197) 一上京知恵光院一条上町 九月断

白木屋安兵衛娘 下女はる

はる二女 十七才

十七才

(198) 一上京式番組 大宮頭若宮堅町 三文字屋

宗門浄土紫竹村長善寺旦那 卯之介

午三月十二日より

断 五女 改下女くめ 十七才

明治三歳九月

(199) 一上木ノ下町 丸屋吉兵衛

壬十月断 二女 下女まさ 廿一才

同断

(200) 一上木ノ下町 六文字屋半兵衛

未三月断 三女 下女はる 十七才

(201) 一上京西洞院二条下ル 松屋太助娘

四月十三日帰 下女はる

(202) 一京宿 一寺之内大宮西入町 笹屋定七

鞍馬百性勘四郎娘 下女まさ

三女 昨十一月暇遣ス、

一丹州 (44) 下女はる

○注 右ノ「丹州下女はる」ハ側ノ書損ジナラン。

(203) 一上京式番組若宮堅町 竹田吉兵衛

三月十二日暇遣 二女娘はる十八才 断

(204) 一丹州桑田村弓け脚井崎村 平民

三月七日雇入、十一月断 志賀伊四郎

二女 こし 十八才

八月八日生

京都宿寺之内浄福寺西入町 和田権七

(205) 一丹州桑田郡山国上黒田村 平民

京宿二番組社 皇茂右衛門

越店引請

二 四女きぬ

三月十日雇入、

七月十一日貫附遣ス、

改 (ママ) まさ
二十才

0206 一 小川武者小路下ル町 平民小野清兵衛

二女 十六才

断 九月断

0207 一 上京廿三区油小路丸太町下大文字町

真宗西本願寺末

宇野宗七

猪熊六角下

娘 いそ
十七才

専応寺

改 まさ

九月断

(百三丁裏)

0208 一 愛宕郡紫竹大門村

今井忠兵衛娘 六月断

五女 十五才

九月十五日 鹿

0209 一 丹波山国下村 三月七日生

横田新助 百性廿六才

三月断 三女しげ

0210 一 上京寺之内大宮西入

竹岡兵助

一女 すみ
四女

廿二才

十一月断 正月生

0211 一 丹州桑田郡下久また村

農 勝山藤助娘 さき

十一月より 一女 十八才

京宿一条黒門西入 四月三日断

海老かセ弥助

0212 一 近江国志賀郡国分村

農 中山市兵衛娘 こま

子十月断一女 廿四才

十一月より

京宿寺之内堀川西入町

ほうそ 奥村長兵衛宿

三才三月

石山村にて 春月三十日

013 (百五丁裏) 一西紫竹大門村第三区

山ノ内与三郎

三女 娘 さだ 十六才

十月二日断

本四才

霜月一日生

九月

再行十一日より

014 (百六丁裏) 一但馬出石郡大谷村 平民

秋葉喜兵衛娘

ちる 廿一才

京宿上京区第十五区

一条千本東入町伊勢殿構町

木下栄助引請

明治八乙亥拾月六日雇入、断

〆当 八月拾五日生

015 (百六丁裏) 一上京拾三区下長者町通浄福寺西入

大工職 佐野小兵衛

孫 みか 廿才

寅拾月断

本三才時 九月四日生

三月断

明治九四月ヨリ

016 (百七丁裏) 上京八区横大宮町

中村儀助

娘 やる 十八才

十二月十五日生

寅当四月断

〆 明治九十月ヨリ

017 (百七丁裏) 滋賀県下近江国高嶋郡藁園村第貳番地

農 大江源之助

一妹 とま

九月断 十九歳一ヶ月

京宿第八区猪熊一条上町

増田喜助

四月三日ヨリ

018 (百八丁裏) 上京第廿四区丸太町室町西

田中助三郎(荷)
姉 こま

天証符有 廿三才

十月断

寅四当月四日

但馬三組郡幸住村(旨八丁裏) 香

商 津田治兵衛
未之歳 長女この

天

廿三才 実ハ
廿才事

明治十二歳四月ヨリ

京宿室町下長者町上ル

坂野勘助

十三歳四月ニ断

因幡国近江郡鳥取(旨九丁裏) 村(島美)
東本路町六十番地

本品治町

小林次郎吉

妹 ちゑ

とみ
廿三才
十四歳四月る又勤ニ参り候、
十一月十三日生

種証符有

京宿木屋町二条下町

二番ろう(巻) すわたか

十四年
十月五日断

御府下西紫竹大門邑第三組(旨九丁裏)

山之上与三郎

娘 さた

十一月一日生 廿一才二ヶ月

本証符有

明治十三歳十月断

洛北東紫竹大門村(旨十丁裏)

農 今井兵次郎

妹 みつ
二十才

文久元酉 天 十九歳

八月十三日生

十三歳十月ヨリ

改四歳四月改出ス、

十四年十月三日ヨリ縁付致、断

〇二〇 上京第廿式組東桜町

山岡圭 住居長女

符符在 式度相濟 ゑい

正月八日生 二十一才

明治十四年十月ヨリ

〇二一 御府下丹波桑田郡第一組辻村

藤の惣二郎

七月十七日生 式女 おたみ

十七年五月より 十九才

明治十六年 十月より 十七年六ヶ月

十月より

明治十九年戊二月拾日

本組役場本籍正改 書出ス、

一 明治十六年二月拾日父山城國相楽郡菱田村平民一宮権三郎長女養女入籍事、明治十七年五月三十日養父死亡ニ付明治十七年九月八日区役所頼濟相続入ス、

木村いよ (朱印)

明治八年一月八日生

一 先代養父木村卯兵衛妻愛宕郡東岡崎村平民舞鶴伝兵衛三女

母 ちう

明治五年三月廿三日入籍

天保十四年六月三日生

一本組元北小路町

中村きく長女明治五年三月相続入ス、明治十一年式月ヨリ木村いよ方へ附籍

中村なか (黒印)

明治三年三月八日生

(百十二丁裏ヨリ百廿九丁表マデ空白)

〔上京四十五番組之内

下上三番組之内円福寺町〕

(裏表紙)

篠屋卯兵衛

六代目常泰

是定

(166) 〔挿入紙〕
昭和六年四月十五日雇入

京都府綴喜郡青谷村奈島

「農」 望月順三

望月藤一「十五才」

「大正六年二月十七日 弟 一

妹 式

高等小学校卒業

注「」内異筆、以下同ジ。

(167) 〔挿入紙〕
京都市大宮通元誓願寺南入

篠卯商店御内

滋賀県高島郡饗庭村旭森

昭明治四拾参年三月十五日

永江小梅

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(173) 〔挿入紙〕
京都市大宮通元誓願寺南入

篠卯商店方

京都府相楽郡木津町五丁目

大正三年六月拾八日

中井としえ

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(169) 〔挿入紙〕
京都市大宮通り元誓願寺南入ル

篠卯商店御内

福井県遠敷郡小浜町多賀

大正二年六月六日

大倉登美子

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(163) 〔挿入紙〕
福井県武生町吾妻区十一

村田安太郎

すゑの

次郎

大正六年八月五日生

武生東尋常
高等小学校

「雇入」 十四才

〔挿入紙奥書〕
昭和五年四月十三日目見へ世話人長谷川氏

武生町松^(マツ)氏目通参ル^(参ル)事事 午後一度長谷川氏へ帰り

昼夜宿元ニ

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(174) 現住所

京都市上京区御前通今出川下ル馬喰町

細川ハツ 長男

大正十一年四月二十六日 細川三郎

現籍^(せき) 五辻通大宮西入

細川与三郎

(興筆) 「世話人桃園校 植村先生」

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(171) 京都市智恵光院寺ノ内東入大猪熊町

機料店 北沢兼治郎

全 マキ

大正六年十月拾壹日生 全利一郎 十七才

全晶治郎

全加代子

西陣小学校六年マデ

京都商業学校昼間部

第三年マデ

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(229) 現住所市内上京区五辻通七本松西入上ル老松町

父 柴山善次郎 四男

柴山成雄

当年十六才

母 柴山とよ

大正六年十月二日生

学歴

昭和五年 翔鸞尋常小学校卒業

同年 京都第一工業学校入学

昭和七年九月 同校退学

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(175) 岡山県真庭郡久世町大字惣

岡田林太郎

岡田由子

岡田 明

四男

大正十年一月七日生

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(172) 京都市堀川通今出川下ル橋ノ上町

父 中村久間三

中村一雄

大正十年五月二十七日

注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

(182) 原籍 京都市上京区淨福寺通上立売西入上ル真倉町

七四二番地 浅田和三郎方

現住 京都市寺之内通知恵光院西へ入

大猪熊町五七番地 浅田光三方

本人

浅田正次郎

明治三十三年一月二日生

京都市翔鸞尋常小学校卒業

注 封紙ニ記サレテイル。

(16) 京都市上京区裏門通一条下今新在家町二〇六番地

実父 三宅政治

右長男

本人 憲治

大正三年五月十一日生

兄弟 弟三人 妹一人

織物業

(160) 京都市上京区御前通鍋町西入ル

金森菊造

金森コト

三男 金森美乃留

大正五年二月十三日生れ

京都市翔鸞校高等科第一学年才修業

(184) 住所 京都市上京区油小路通一条上ル革堂西町

中川利吉 中川志津

大正十五年十二月三日生

中川利次

昭和十四年三月二十六日 小川尋常小学校卒業
 昭和十四年四月八日 第一高等小学校入学

昭和十五年三月 第一高等小学校一年終了
 注「木村卯兵衛商店」ノ用箋ニ記サレテイル。

青少年雇傭名簿

業務種類	青少年氏名 及年月日	本籍	雇入年月日	解雇年月日	備考
	藤木 政次郎 明治四十四年三月二十日	京都市中京区油小路通竹屋町下ル	大正十五年四月十三日		
	福岡 豊吉 大正二年五月二十八日	京都市上京区御前通一条下ル下堅町	大正十五年五月二日		昭和十五年十一月二十五日中部第四十三部隊 應召
	田井中 哲尾 大正三年九月三日	京都市下京区千本通高辻下ル	昭和三年四月一日	昭和十五年九月三十日	
	村田 次郎 大正六年八月五日	福井県武生町大門河原	昭和五年四月十三日		
	中村 一雄 大正十年一月七日	京都市上京区東堀川今出川下ル橋ノ上町	昭和九年四月五日		
	岡田 明 大正十年一月七日	岡山県真庭郡久世町字惣	昭和十年四月二十六日		昭和十七年一月 呉海兵團入団
	細川 三郎 大正十一年四月二十六日	京都市上京区御前通今出川下ル馬喰町	昭和十年四月八日		昭和十六年十一月廿七日京都市衛生部ノ命ニヨリ山科目ニ小学入所

	業務種類	青少年月氏名	本籍	雇入年月日	解雇年月日	備考
		鈴木 豊 大正十一年九月二十七日	岡山県吉備郡水内村字原 一一二〇	昭和十二年四月三日	昭和十六年七月	
		増田 貞次 大正十一年八月二十七日	広島県古田町字古江 二二三	昭和十二年四月十日	昭和十六年二月 二十八日	
		小島 正志 明治四十三年七月二十八日	京都市六軒町通一条上ル 小島仙吉長男	昭和三年三月九日		
		浅田 正二郎 明治三十三年一月二日	京都市淨福寺通上立売西 入真倉町 浅田和三郎方	昭和十四年八月 二十五日		
		太田 みさを 大正十二年一月三十一日	滋賀県栗田郡葉山村 字宅屋 太田多三郎方	昭和十五年十一月 一日		
		海東よの 大正七年六月二十一日	滋賀県高島郡饗庭村字針 江 海東仙之助方	昭和十六年六月七日		

注 右ノ「青少年雇備名簿」ト同種ノモノハ他ニ一通アツテ、ソレニハ名簿ノ上ニ昭和十六年二月二十二日付ノ次ノヨウナ印判ガ捺サレテイル。

昭和十四年十二月三十一日 青少年雇備総員数	9名	青少年現在員数	5名	名	名
雇備定員数	7名	雇備定員変更	名	名	名
入営志召者員数	名	備考	昭和十六年二月二十二日		

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

									氏名	生年月日	本籍	雇入(年)生月日	解雇年月日
高小16	増田貞次	大十一年八月二十七日	広島市古田町 増田三代太郎六男	昭和十二年四月十日	昭和十六年二月二十八日 解雇	高小16	鈴木豊	大十一年九月二十七日	岡山県吉備郡水内村 鈴木隆四郎二男	昭和十二年四月三日	○		
高小15	岡田明	大十年一月七日	岡山県真庭郡久世町 岡田林太郎四男	昭和十年四月二十六日	○	尋卒14	細川三郎	大十一年四月二十六日	御前通今出川下ル 細川ハツ長男	昭和十年四月八日	○		
尋卒14	中村一雄	大十年五月二十七日	堀川通今出川下ル 中村久間三長男	昭和九年四月十五日	○	尋卒14	村田次郎	大六年八月五日	福井県武生町 村田安太郎二男	昭和五年四月十三日	○		
尋卒14	田井中哲尾	大三年九月三日	千本通高辻下ル田井中 末吉二男	昭和三年四月一日	昭和十五年九月三十日 解雇	尋卒15	福岡豊吉	大二年五月二十八日	御前通一条下ル福岡石松二男	大十五年五月二日	○		
二商19	小島正造	明四十四年三月二十日	油小路竹屋町下 藤木正四男	大正十三年四月十三日	○	尋卒13	藤木政二郎	明四十四年三月二十日	六軒町一条上ル小島仙吉長男	昭和三年三月九日	○		

退店年月	別家	世 話 人	備 考
安政 6. 冬	○	山卯作(四代目伯父)	巷ヶ年通勤
明治 2. 9	○		度々不埒
慶応 元 7	○		明治 3. 7 出入免
元治 元10	○		宿元ニテ死亡
明治 元11	○	近藤	不埒後宿ニテ死亡
元治 元 5		東川原村忠兵衛	父, 多羅尾村代官手代, 未 8 死亡 暇遣ス
明治 6. 3		松屋歳次郎	六代目卯兵衛請, 暇遣ス
慶応 2. 5			祖父奉公, 15才死去 六代目卯兵衛兄権三郎悴 断
明治11. 1	○	店与介 父親笹屋藤介	暇遣ス 大不埒ニ付暇遣ス 小者ノ折ニ奉公, 10季奉公人契約父藤介 ハ笹伝別家
明治 3. 6		八文字屋宗介	相続人ノタメ暇遣ス, 出入許可
明治 3. 3			暇出ス
明治 2. 8		池田屋儀八 (No.18) の親	病氣ニ付暇遣ス
明治14. 1	○	池田屋儀兵衛	明治22.6.8 京都始審裁判所閲印アリ
明治 4. 5			断
明治17			断
明治 3. 11			相続人ニ付断, 出入許可 笹儀別家笹屋清兵衛悴, 19才不埒23才再 勤, 断
明治 7. 10		岩井与八	断
明治12. 4		藤井平介	相続人ニ付帰村
明治 9		姉	姉下女勤, 断
明治16. 9		西邑儀八	明治12.12通勤申付(親老人ニ付)
明治10. 7		世話人別家ニ付ナシ	度々不埒断
明治10. 7			断
		藤井茂兵衛	断
		本家おりう	断

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

奉公人召抱控表

(木村卯兵衛家文書D-77より作成)

	店呼名	本名	間柄	出身地	雇入年月	年齢
1	治介	長四郎		丹波篠山谷山村	弘化 4. 4	21
2	新介	藤兵衛		近江志賀郡上竜花村	弘化 4. 9	20
3	清兵衛	藤兵衛		山城北二之瀬	安政 5. 冬	6
4	久助	久吉		西陣枕町	安政 2. 2	
5	清八	清吉		丹波野々村庄沢田村	安政 4. 春	
6	喜介	伝吉		猪熊三条上ル町	安政 5. 春	11
7	与介	米吉		近江信楽多羅尾村	嘉永 4. 春	12
8	又助	幸太郎		山城綴喜郡森新田村	安政 2. 春	14
9	為七	為吉		近江高島郡牧野村	万延 2. 春	11
10		岩吉		山城綴喜郡川原村	文久 2. 春	11
11		孝吉		近江志賀郡上竜花村	文久 3. 春	11
12	忠八	捨吉		山城相楽郡菱田村	文久 3. 5	12
13	駒吉	駒次		中筋通浄福寺西入町	慶応 元. 4	13
14		立吉		中立売黒門東入役人町	慶応 2. 4	12
15		米吉	4男	姉小路大宮西入町	慶応 2. 4	9
16	弁七		3男	一条通六軒町西入町	慶応 3. 4	20
17		伊佐吉		烏丸二条上ル蒔絵町	明治 元. 9	12
18	万吉	儀三郎		大宮頭御旅町堅若宮町	明治 2. 4	12
19		金三郎		大徳寺門前大門村	明治 2	11
20		長谷川巳之助	長男	大宮頭若宮堅町	明治 3. 2	13
21		平吉	2男	岩上嶋薬師下ル宮本町	明治 3. 3	11
22		谷内河吉	3男	知恵光院笹屋町下ル橋町	明治 3. 6	13
23	猶吉	岩井五八		伊勢四日市(信楽多良尾村移)	明治 3. 11	11
24	伊助	笹屋梅次郎		中筋大宮西入町		9
25		徳本金次郎	2男	近江信楽多良尾村	明治 4. 10	16
26		福井与三郎	2男	横大宮町	明治 7. 5	11
27		小野松之助	3男	小川武者小路下ル葎堂町	明治 9. 3	11
28		松山政次郎	4男	若宮堅町	明治 7. 5	12
29		荒堀藤次郎	長男	大宮元誓願寺西入	明治 6. 8	9
30		船木平次郎		築山北半町	明治 7. 12	16
31		清水文次郎	3男	黒門中立売上ル飛弾正町	明治 9. 4	15
32		小林源吉		上御霊前通新町東入継孝院町		11
33		庄半次郎		上京区東石屋町		13

退店年月	別家	世 話 人	備 考
明治12. 1			相続人=付引取
明治13. 2		浅井嘉助	国元引取
明治? 6		一条川越藤助	
明治? 8			
明治16. 8			病氣養生ノタメ断 少々不都合暇遣ス
明治12. 10			
明治12. 4			断
明治16. 10			度々不埒=付断
明治13. 8		西邑儀八	断 死亡, 七代目予定
4			断
辰 8		橋本藤吉, 親類	分家致スタメ断
明治22. 10		大野惣兵衛	士族, 暇遣ス
6		西邑儀八	
明治16. 11		今井兵次郎	不埒=付暇遣ス
明治20. 10		勝山米二郎	少々不都合=付暇遣ス
明治19. 5		長谷川巳之助	少々不都合=付暇遣ス
明治26. 10			少々店ニテ不都合暇出ス
明治29. 4			六代目妻お重の甥, 明治27年六代目養子 明治29.4七代目
明治23. 2		三柴権八郎	明治21不都合=付宿元預, 明治23家出不 都合=付暇遣ス
明治20. 5			病氣=付暇遣ス
明治27. 5		橋本嘉兵衛	店出不都合アリ暇遣ス
明治29. 6	○	林藤助	明治25退店大阪下リ
明治32. 7			不都合=付暇遣ス
明治19. 10			帰ル
明治20. 10			帰ル
明治21. 10			暇遣ス
明治33. 6		木村久吉	不都合=付暇遣ス
明治26. 4			暇遣ス
明治21. 7			不都合=付早々長々暇遣ス
		安田庄太郎	野口氏士族, 八代目実父, 舞鶴家相続
明治23. 10			暇遣ス
	○	安田庄太郎	明治34, 舞鶴家へ養子, 明治38, 分家分 トナス, No. 65と同一人
明治26. 12		野口徑, (No. 65) の親	都合ニヨリ暇出ス

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

	店呼名	本名	間柄	出身地	雇入年月	年齢
34		大住安太郎	長男	上京東上善寺町	明治10. 8	11
35		三木 芳造		兵庫県津居山村	明治10. 8	12
36		浅井常次郎	3男	夷川柳馬場西入百足屋町	明治10. 8	12
37		荒堀藤三郎		元妙蓮寺町	明治10. 8	9
38		堀 正太郎	長男	相楽郡菱田村	明治11. 4	9
39		酒井元治良		黒門通一条下ル飛驒殿町	明治11. 10	12
40	下女	道本 なを		丹波桑田郡田村	明治11. 10	23
41	下女	岩田 はる		狹屋町夷川上町	明治11. 10	17
42		出嶋 定吉		綴喜郡飯岡村	明治12. 3	14
43		青木継之助	長男	間之町一条上ル夷町	明治12. 3	12
44		一宮角次郎	長男	相楽郡菱田村	明治12. 1	14
45	下女	車道おしん		夷川富小路西入町俵屋町	明治12. 10	36
46		小幡里之助		下京白楽天町	明治13. 3	11
47		多賀午一郎		上京三帯町		11
48		松尾徳次郎	長男	大宮頭若宮町		12
49		和田 音松	長男	北桑田郡中路村		12
50		谷川利之介	長男	上京大黒町	明治14. 5	13
51		平次勇治郎		御池通富小路東入町	明治15. 8	11
52		大野清三郎	長男	上京姥ヶ寺之前町	明治16. 2	11
53		舞鶴亀次郎		上京葭屋町	明治16. 11	11
54		佐々木房次郎	長男	上京蛭子町	明治17. 4	12
55		西村幸治郎	3男	上京若宮堅町	明治18. 2	13
56		山田万治郎	養男	上京横社町	明治18. 11	11
57		沢田吉之助	長男	下京山伏山町	明治19. 2	17
58		本郷弥三郎	次男	上京西亀屋町	明治19. 8	11
59	下女	島津 いよ	長女	若狭高浜三明町	明治17. 4	19
60	下女	壺井 すみ	3女	近江滋賀郡仰木村	明治19. 4	14
61	下女	和田 しよ	長女	丹波北桑田郡中地村		
62		中西 秀三	次男	上京区革堂町	明治20. 9	12
63	下女	横田 とき	2妹	近江滋賀郡伊香立村	明治20. 10	21
64		安川康三郎		下京区大江町	明治20. 10	22
65	正 吉	野口 政一	3男	上京花立町	明治21. 6	14
66	下女	岩田 たけ	妹	上京一条殿町	明治21. 10	18
67	正 吉	杉本 政道		上京室町中立売下ル花立町	明治21. 6	14
68	金 吉	伊達金之助	3男	上京寺町通今出川三丁上ル西入ル	明治23. 3	11

退店年月	別家	世 話 人	備 考
明治26. 4			姉モ下女, 暇遣ス
明治27. 1		岡本五三郎	明治39.3不都合, 再勤
大正 3. 2	○	永居市兵衛	病気多ク養生, 明治27.2死亡
明治38. 9		永井市兵衛	明治40別宅申付, 大正 3 自宅開業
明治33. 2		河野市兵衛	24才デ死亡
明治41			宿元デ死亡
		田中市五郎	日露戦争参加, 大成不都合ニ付暇遣ス
		馬場喜三郎	都合ニヨリ暇遣ス
明治30. 秋			都合ニヨリ暇遣ス
明治29. 10			嫁入道具遣ス
34.			嫁入道具遣ス
明治29. 9			都合ニヨリ暇遣ス
明治38. 8			不都合ニ付暇遣ス
			都合ニヨリ暇遣ス
		野口徑	不都合ニ付暇遣ス
明治38. 8		野村お菊	死去
大正10. 1	○	野村おふさ	大正 2, 別宅申付
		松山孝次郎	都合アリ暇遣ス
		瓦師宮原	都合ニヨリ暇遣ス
		店辰七	不都合ニテ暇遣ス
大正13. 1	○	福寿院	大正 7, 別宅申付, 大正13退店開業
明治38. 11		野口徑	堤八郎方店番, 惣糸業開業
明治39. 4	○	実父	依願退職, 別家心付
明治36. 6			親病氣ニ付暇遣ス
明治35. 10			暇遣ス
大正11. 12	○		六代目出生一宮権郎分家, 大正 7, 別宅申付, 大正11開業
大正 2. 11			本人母已之助方下女, 不都合アリ解雇
大正 5. 11		泉武吉	大不都合アリ暇遣ス
明治39. 10			暇遣ス
			暇遣ス
		孝吉(幸吉)父村田駒次郎(No. 88)	都合アリ暇遣ス
		米七父野村兵助(No. 81)	不都合ニ付暇遣ス
		村田駒次郎	暇遣ス
明治39. 5		店勇七(No. 72)	都合アリ暇遣ス
大正 3. 8		店直七	病氣ニ付退店ス

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

	店呼名	本名	間柄	出身地	雇入年月	年齢
69	下女	島津 やす	次女	若狭高浜三明町	明治23. 10	18
70	辰吉	名村辰之介	3男	上京衣棚通出水下ル	明治24. 3	12
71		中村芳三郎	2男	滋賀県滋賀郡伊香立上在地村		11
72	由吉	高橋芳太郎	長男	上京中立売通黒門東入役人町	明治24. 4	12
73	長七	富田長次郎	2男	滋賀県滋賀郡伊香立村下在地	明治26. 6	12
74	藤吉	上村万次郎	長男	下京大黒町(黒門通)五条上ル音羽町	明治27. 8	13
75	周吉	並川新次郎		西洞院万寿寺下ル	明治27. 7	12
76	信吉	秋山信次郎	3男	上京今出川寺町西入大原口町	明治28. 2	14
77	嘉吉	馬場嘉四郎	2男	滋賀県犬上郡地蔵	明治28. 3	13
78	下女	山城 若	長女	上京寺之内小川西入	明治26. 10	18
79	下女	入口 元	長女	滋賀県伊香立村	明治27. 10	
80		伊藤梅次郎		滋賀県高島郡安曇村	30. 4 明治28. 10	14
81	米七	野村米次郎	2男	上京大宮通寺之内上ル	明治29. 6	12
82	菊下女	田中 菊	長女	滋賀県大津町下平倉町	明治29. 10	22
83	茂吉	久布自茂蔵	長男	室町通上立売上室町頭	明治30. 8	11
84	謙吉	久保井謙之助	次男	東洞院丸太町下ル	明治31. 6	12
85	常吉	丹羽常太郎	次男	西洞院御池下ル三宮西洞院町	明治31. 11	12
86	太吉	角川八太郎		小川通元誓願寺下ル	明治36. 11	11
87	安吉	井出伊之助	長男	油小路下立売下ル裏辻町	明治34. 3	14
88	幸吉	村田光之助	長男	葛野郡花園村谷口	明治34. 5	14
89	巳之吉	本郷巳之助	長男	葛野郡花園村字多野	明治34. 4	11
90		小谷直五郎		府下中郡峰山町白銀	明治33. 3	50
91	はる下女	梶本 ひさ	長女	大宮上長者町上ル常陸町	明治32. 11	16
92	下女	寺田 むめ	長女	滋賀県滋賀郡伊香立村下在地	明治34. 4	20
93	まさ下女	北村 しが	2女	兵庫県城崎郡香住村	明治34. 4	20
94	義吉	一宮 儀三	2男	府下相楽郡狛田村菱田	明治36. 4	14
95	忠吉	友田 多吉	長男	上京大宮寺之内上ル西入観喜町	明治36. 2	11
96	武吉	青山武次郎		上京区大宮今出川上ル観世町	明治36. 4	14
97	まさ下女	相本 たね	2女	上京区大宮一条上ル青殿町	明治35. 10	23
98	うめ下女	由里 小民	長女	府下北桑田郡黒田村下黒田	明治36. 7	20
99	弥吉	田中弥二郎	2男	葛野郡花園村谷口	明治37. 8	11
100	増吉	藤木米太郎		上京大宮寺之内上ル前之町	明治38. 9	12
101	房吉	太田七次郎	3男	葛野郡花園村谷口	明治38. 9	12
102		小村 清吉	3男	新町御池下ル大文字町	明治39. 4	13
103	豊七	井上啓次郎		府下中郡峰山町泉	明治38. 12	52

退店年月	別家	世 話 人	備 考
明治39. 10		丹屋ゆき	暇遣ス
大正 2. 2			暇遣ス 不都合ニ付暇遣ス
		店ノ巳之吉 (No. 89)	都合アリ暇遣ス
	○	実兄横田林三郎	大正14, 別宅申付
大正15. 1	○	店ノ弥吉 (No. 99)	大正11, 別宅申付, 大正15開業
大正 5. 10		林金三郎	不都合有暇遣ス
大正15. 1	○	店ノ高橋由太郎 (No. 72)	大正11, 別宅申付, 大正15開業
大正15. 10	○	野村久次郎	大正14, 別宅申付
明治42. 10		一条川村餅屋	明治42暇遣ス, 45再雇入レル
大正 4. 4		店ノ栄七 (巳之吉 No. 89)	暇遣ス
明治43. 5		一条川村餅屋	暇遣ス
明治44. 10			暇遣ス
大正元. 10			暇遣ス
大正 6		一条餅屋	嫁入道具遣ス, 暇遣ス
		一条川村	
		前ノウめ	
		店ノ義七 (No. 94)	不都合有暇遣ス
昭和 7. 1	○	店ノ義七 (No. 94)	昭和 2, 別宅申付, 昭和7開業
昭和 2. 9	○		昭和 2, 別宅申付
		中村仁平	少々不都合ニ付暇遣ス
大正12. 春			不都合有暇遣ス
		安村吉之助	病氣ニ付暇遣ス
大正10. 1		高橋由太郎 (No. 72)	家事都合有暇遣ス
		舞鶴正七 (8代目実父)	都合有暇遣ス
		西村岩次郎	病氣, 死亡
大正10. 6		舞鶴正七	不都合ニ付暇遣ス
大正 8.		足立源七殿店員	不都合ニ付暇遣ス
大正 7. 5		同郷入田久四郎	都合ニヨリ暇遣ス
大正 8		一宮権次	不都合ニ付暇遣ス
大正12. 10		一宮権次	大不都合暇遣ス
大正 8. 3		一条餅屋	嫁入道具遣ス
			都合アリ暇遣ス
昭和12. 1	○	山本彦三郎	昭和 8, 別家申付, 昭和12開店
大正11. 8		高野栄次郎	不都合ニ付暇遣ス
大正13. 4		西田伊之助	兄死亡ノタメ退職
昭和 2. 11		店甚七 (No. 112)	家出, 不都合アリ

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

	店呼名	本名	間柄	出身地	雇入年月	年齢
104	うめ下女	川井 しづ	長女	市内建仁寺松原下ル弓矢町	明治38. 4	19
105	はる下女	新井 えん	長女	府下北桑田郡山国村比加江	明治39. 4	18
106	利吉	衣川庄之助	長男	上京寺之内千本西入柏羽清盛町	明治39. 7	14
107	嘉吉	加藤嘉四郎	2男	府下葛野郡花園村宇多野	明治40. 4	12
108	岩吉	横田岩三郎	5男	上京上長者町智恵光院西入	明治40. 4	11
109	信吉	西沢信次郎	2男	府下葛野郡花園村御室	明治41. 9	14
110	元吉	倉橋国太郎	弟	上京今出川室町西入堀出町	明治41. 7	12
111	順吉	堤 順之助	弟	上京広小路河原町西入	明治42. 4	15
112	甚吉	野村 甚蔵	2男	大阪府南河内郡石川村須賀	明治42. 4	14
113	まさる下女	田中 きく	長女	上京下立売松屋町西入	明治41. 10	18
114	むめ下女	村上 ひさ	長女	府下葛野郡花園村鳴滝	45. 3	
115	まさ下女	咲花 きし	長女	兵庫県城崎郡阿芸村	明治42. 8	20
116	はる下女	墨田 きく	長女	滋賀県滋賀郡滋賀村錦織	明治42. 10	20
117	まさ下女	小沢 みや	長女	滋賀県滋賀郡坂本村下坂本	明治44. 4	18
118	はる下女	田中 かず	長女	上京元誓願寺通千本西入	明治44. 10	18
119	まさ下女	今西 すゑ	長女	兵庫県城崎郡口津村上計	大正元. 4	
120	うめ下女	寺石 みよ	長女	府下葛野郡花園村宇多野福王子	大正 2. 10	
121	音吉	堀 武之	長男	府下相楽郡狛田村菱田	大正 4. 1	
122	秀吉	中野庄太郎	3男	府下相楽郡狛田村菱田	明治44. 9	15
123	孝吉	池垣 省三	3男	府下久世郡寺田村	明治44. 9	13
124	平吉	川添 嘉平	2男	岐阜県養老郡時村時山	明治44. 11	14
125	彦吉	大橋大次郎	2男	岐阜県養老郡時村時山	明治45. 5	15
126	留吉	吉村樫三郎	2男	下京小川三条上ル	大正 2. 4	14
127	源吉	浜田源太郎	長男	下京室町松原下ル元両替町	大正 3. 4	18
128	健吉	北村健次郎	長男	下京東洞院四条上ル	大正 3. 4	21
129	虎吉	幸田幸太郎	長男	上京衣棚通二条上ル	大正 3. 4	19
130	政吉	藤井 寅雄	2男	上京寺之内浄福寺西入二丁目	大正 5. 3	14
131	惣吉	大森陸三郎	3男	上京竹屋町猪熊西入上ル	大正 5. 5	15
132	利吉	入田 利穂	2男	上京千本芦山寺上ル	大正 5. 7	15
133	辰吉	宮長 寅蔵	2男	府下相楽郡木津町城戸	大正 6. 8	13
134	直吉	高田 直蔵	2男	府下相楽郡狛田村菱田	大正 6. 10	16
135	まさ下女	伊藤 きさ	2女	府下相楽郡狛田村菱田	大正 7. 4	16
136	むめ下女	伊藤 きさ	2女	滋賀県滋賀郡仰木村今町	大正 5. 10	19
137	長吉	木子 とく	長女	府下葛野郡衣笠村大將軍	大正 6. 4	19
138	春吉	長谷川長次郎	長男	上京区小川一条上ル	大正 8. 9	15
139	新吉	宮内喜一郎	長男	上京区今出川七本松西入	大正 9. 3	17
140	留吉	内海新五郎	2男	府下宇治郡醍醐村醍醐	大正 9. 3	15
141	留吉	柳本 隆三	3男	大阪府南河内郡黒山村太井	大正 9. 4	14

退店年月	別家	世 話 人	備 考
昭和 5. 7		一宮権次	都合アリ暇遣ス(勝手者ノ不都合)
昭和 7. 2		店甚七 (No.112)	不都合アリ甚七預ケ解雇ス
		栄七 (No.89)	家事都合アリ暇遣ス
大正15. 4		川村たつ	嫁入道具遣ス
大正12. 4		姉はる (No.144)	暇遣ス
大正11. 8		小林元三郎	暇遣ス
昭和 5. 春		山本とめ(機業家)	昭和 4. 8 飯台上ル, 勝手出シ暇遣ス
		店甚七 (No.112)	昭和 4. 8 飯台上ル
昭和21		箱屋橋爪仁三郎	兄死ニ付暇遣ス
		口入屋	暇遣ス
昭和 3. 5		北村嘉市	家事都合ニヨリ暇遣ス
		川村芳之	昭和 7. 1 飯台上ル
昭和 5. 2		店ノ岩七 (No.107)	暇遣ス
昭和11. 12		店ノ与七 (No.141)	昭和 7. 1 飯台上ル, 依願退職
		本郷栄七 (No.89)	昭和 7. 1 飯台上ル
昭和15. 9		店与七	昭和10.10飯台上ル, 依願退職
昭和11. 8		松本久太郎	死亡
昭和 3. 6		店秀七 (No.122)	家事都合ニヨリ暇遣ス
昭和 5. 2		与七	店ニテ死亡
昭和 7. 2		本人兄	家事都合ニヨリ暇遣ス
昭和 7. 9		店員町内仲栄吉	家事都合ニヨリ暇遣ス
昭和 7. 2		一宮権次	不都合アリ暇遣ス
		一宮権次	暇遣ス
昭和 5. 3		井筒屋	暇遣ス
		幸七親族長谷川氏	昭和11. 8 元服
		高橋勇七 (No.72)	退店
昭和10. 1		上田屋	退ク
昭和 7. 4		上田屋	暇遣ス
昭和11. 1			暇遣ス
昭和11. 6		高橋応三郎	家事都合ニテ暇遣ス
		井関元七方美代吉	退店ス
		桃園校先生山田氏	
昭和11. 11		桃園校植村先生	
		家喜拾郎	
昭和11. 4			帰ル

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

	店呼名	本名	間柄	出身地	雇入年月	年齢
141	与吉	高田 弘	2男	府下相楽郡相楽村曾根山	大正10. 4	16
142	繁吉	玉林 繁	4男	島根県簸川郡久木村南村	大正11. 8	17
143	兵吉	木村 兵一	長男	上京大宮寺之内東入北小路町	大正11. 12	15
144	はる下女	小西 セキ	長女	滋賀県蒲生郡金田村長田	大正 8. 1	16
145	まさ下女	小西 きよ	2女	滋賀県蒲生郡金田村長田	大正11. 9	16
146	まつ下女	岩垣とらの	長女	府下相楽郡西和東石寺	大正 8. 2	18
147	竹吉	山本 尚三	3男	上京笹屋町千本西入	大正12. 4	14
148	梅吉	藤木政二郎	4男	上京油小路竹屋町下ル	大正12. 4	13
149	藤吉	田中 政一	2男	上京堀川元誓願寺下ル	大正12. 9	13
150	まさ下女	小野 富江	長女	府下北桑田郡山国村初川	大正12. 4	17
151	重吉	藤原沢之助	2男	上京智恵光院一条上ル	大正14. 4	16
152	豊吉	福岡 豊吉	2男	上京御前一条下ル下方町	大正15. 5	14
153	嘉吉	大町 幸三	2男	府下船井郡園部町宮町	大正15. 5	12
154	源吉	武山 嘉吉	2男	上京今出川小川東入北兼康町	昭和 2. 6	15
155	太吉	小嶋 正道	長男	上京六軒町笹屋町下ル	昭和 3. 3	19
156	種吉	田井中哲尾	2男	下京千本高辻下ル	昭和 3. 4	15
157	俊吉	加藤 俊雄	2男	名古屋中区広路町大藪	昭和 3. 4	15
158		山本 義信	2男	上京鞍馬口知恵光院西入	昭和 3. 4	16
159	浅吉	奥田 幸二	2男	奈良市椿井町一丁目	昭和 3. 4	15
160	美乃吉	金森美乃留	3男	上京鍋町御前通西入	昭和 4. 4	14
161	憲吉	三宅 憲治	長男	上京裏門通一条下ル今新家町	昭和 4. 5	16
162	まつ下女	豊田 房枝	3女	府下相楽郡粕田村菱田	大正15. 5	16
163	はる下女	新司 静枝	2女	府下相楽郡粕田村菱田	昭和 3. 4	15
164	まさ下女	中村 初子	3女	兵庫県城崎郡清龍村太田	昭和 4. 10	22
165	安吉	村田 次郎		福井市武生町吾妻区	昭和 5. 4	14
166	孝吉	望月 藤一	長男	府下綴喜郡青谷村奈良	昭和 6. 4	15
167	はる下女	永江 小梅	長女	滋賀県高島郡饗庭野村旭	昭和 7. 2	23
168	うめ下女	舛田 リツ子	4女	府下舞鶴町本町	昭和 7. 2	20
169	まつ下女	小倉 とみ	2女	福井県小浜町多賀	昭和 7. 4	19
170	茂吉	石川茂次郎	長男	上京笹屋町御前通西入上	昭和 7. 4	16
171	利吉	北沢利一郎	長男	上京知恵光院寺之内東入 大猪熊町	昭和 8. 4	17
172	万吉	中村 一雄	長男	上京堀川今出川下ル橋之上町	昭和 9. 4	14
173	ウメ下女	中井 トシエ		府下相楽郡木津町五丁目	昭和 9. 4	21
174	与三吉	細川 三郎	長男	上京御前通今出川下ル馬喰町	昭和10. 4	14
175	林吉	岡田 明	4男	岡山県真庭郡久世町惣	昭和10. 4	15
176	はる	松尾 静子	長女	広島県双三郡八幡村雲通	昭和10. 6	23

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

	店呼名	本名	間柄	出身地	雇入年月	年齢	
177	弘吉	磯田美津弘	2男	岡山県阿哲郡刑部町小坂部	昭和11. 5	15	
178	隆吉	鈴木豊	2男	岡山県吉備郡水内村原	昭和12. 4	16	
179		松原栄一	長男	岡山県阿哲郡刑部町小坂部	昭和12. 4	22	
180		増田貞次	6男	広島市吉田町古江	昭和12. 4	16	
181	はる下女	西村誠子		滋賀県滋賀郡伊香立村	昭和11. 4		
182		浅田正次郎		上京寺之内智恵光院西入大猪熊町	昭和14. 8	40	
183	まつ下女	黒坂しかえ	2女	兵庫県城崎郡	昭和12. 10		
184	利吉	中川利次		上京区油小路元誓願寺下草堂西町	昭和15. 4	15	
185		太田みさを	4女	滋賀県栗太郡葉山村宅屋	昭和15. 11	18	
186		海東よの	長女	滋賀県高島郡饗庭村針江	昭和16. 6	24	
下女之部	187	下女	百姓長七娘		近江伊香立生津村		18
	188	まさ下女	百姓惣兵衛娘		丹波桑田郡神吉村		21
	189	ゑつ下女	吉住屋 与兵衛娘		上京衣棚樋木町上ル町		16
	190	たつ下女	天秤屋 庄五郎娘		但馬豊岡下町	9	16
	191	まさ下女	山形屋豊介娘		丹波亀山川原町		23
	192	くめ下女	丹波屋平七娘		大宮廬山寺上ル町		20
	193	くめ下女	植木屋 長兵衛娘		元誓願寺黒門角		18
	194	まさ下女	亀屋 平右衛門娘		但馬出石	巳 9	
	195	いし下女	百姓庄兵衛娘		丹波船井郡卷山村		
	196	まさ下女	松屋太助娘		上京西洞院二条下町		26
	197	はる下女	白木屋安兵衛	2女	上京知恵光院一条上町		17
	198	くめ (みつ)	三文字屋 卯之介	5女	上京大宮頭若宮堅町	午 3	17
	199	まさ下女	丸屋吉兵衛	2女	上京上木ノ下町		21
	200	はる下女	六文字屋 半兵衛	3女	上京上木ノ下町		17
	201	はる下女	松本太助娘		上京西洞院二条下ル		
	202	まさ下女	百姓勘四郎娘	3女	鞍馬		
	203	はる下女	竹田吉兵衛	2女	上京若宮堅町		18
	204	こし下女	志賀伊四郎	2女	丹波桑田郡弓削郷井崎村	3	18
205	きぬ下女	畠茂右衛門	2女	丹波桑田郡山国上黒田村	3	20	
206	たつ下女	小野清兵衛	2女	上京区小川武者小路下ル町		16	
207	まさ (いそ)	宇野宗七娘		上京油小路丸太町下ル大文字町		17	
208	鹿下女	百姓 今井忠兵衛	5女	愛宕郡紫竹大門村	9	15	

退店年月	別家	世 話 人	備 考
3			断
11			断
4			断
子10			断
10			断
			断
寅 4			断
9			断
10			断
明治13. 4			断
明治14. 10			断
明治13. 10			No.212ノ再雇備?
明治14. 4			縁付
			履歴書ノミアリ記帳ナシ。

西陣帯商木村卯兵衛家所蔵『奉公人召抱控』

	店呼名	親名	間柄	出身地	雇入年月	年齢	
下 女 之 部	209	しげ下女	横田 新助	3女	丹波桑田郡山国下村		26
	210	すみ下女	竹岡 兵助	4女	上京寺之内大宮西入		22
	211	さき下女	勝山 藤助	長女	丹波桑田郡下久また(熊田)村	11	18
	212	こま下女	中山市兵衛	長女	近江滋賀郡国分村	11	24
	213	さだ下女	山ノ上与三郎	3女	西紫竹大門村		16
	214	ちゑ下女	秋葉喜兵衛	娘	但馬出石郡大谷村	明治 8. 10	21
	215	みか下女	佐野小兵衛	娘	上京下長者町浄福寺西入	明治 9. 4	20
	216	やゑ下女	中村 儀助	娘	上京横大宮町	明治 9. 10	18
	217	とま下女	大江源之助	妹	滋賀県高島郡藁園村	4	20
	218	こま下女	田中助三郎	姉	上京丸太町室町西入	寅 4	23
	219	この下女	津田治兵衛	長女	兵庫県香住村	明治12. 4	20
	220	とみ下女	小林次郎吉	妹	鳥取本品治町	明治14. 4	23
	221	さた下女	山之上与三郎	娘	府下西紫竹大門村		22
	222	みつ下女	今井兵次郎	妹	府下東紫竹大門村	明治13. 10	20
223	ゑい下女	山岡 圭	長女	上京東桜町	明治14. 10	21	
224	おたみ 下女	藤野惣二郎	2女	府下桑田郡辻村	明治16. 10 明治17. 5	19	
↓	225		柴山 成雄	4男	上京五辻七本松西入上ル老松町	(昭和7. 9)	16

奉公人出身地別表 (元治元～昭和16)

			男	女	計			
市内	上下	京	76	23	99	} 115	(注)	
		京	15	1	16			
府下	相綴愛葛宇久桑田(南・北)船中舞	楽郡	10	4	14	} 55		上京・下京ノ境ヘニ条トスル。
		喜郡	4	0	4			
		宕郡	2	5	7			
		野郡	6	3	9			
		治郡	1	0	1			
		世郡	1	0	1			
		田(南・北)郡	2	12	14			
		井郡	1	1	2			
		鶴町	2	0	2			
滋賀県	高島志甲犬蒲栗	郡	2	3	5	} 26	上京・下京ノ境ヘニ条トスル。	
		郡	4	11	15			
		郡	2	0	2			
		郡	1	0	1			
		郡	0	2	2			
		郡	0	1	1			
	大兵奈島鳥三愛岡広福岐	府	2	0	2	} 29		上京・下京ノ境ヘニ条トスル。
		県	2	9	11			
		県	1	0	1			
		県	1	0	1			
		県	1	0	1			
		県	1	0	1			
		県	4	0	4			
		県	1	1	2			
		県	1	3	4			
		県	1	0	1			
			146	79	225			